

平成29年度 第55回 東北地区スポーツ推進委員研修会 岩手県大会 報告書

期日: 平成29年 7月7日(金)~8日(土)

会場: 7月7日(金)

北上市文化交流センター さくらホール

7月8日(土)

北上総合運動公園・北上総合体育館

北上市多目的催事場・北上市立公園展勝地

主 催 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 東北地区スポーツ推進委員協議会 岩手県スポーツ推進委員協議会
岩手県
共 催 北上市 西和賀町教育委員会 花巻市
主 管 平成29年度東北地区スポーツ推進委員研修会岩手県大会実行委員会
後 援 スポーツ庁 青森県教育委員会 宮城県教育委員会 福島県 山形県教育委員会 秋田県

開会行事



開会のことば
高橋 吉行 岩手県スポーツ推進委員協議会副会長



主催者あいさつ
佐藤 勝士 東北地区スポーツ推進委員協議会会長



主催者あいさつ
齊藤 斗志二（公社）全国スポーツ推進委員連合会長



主催者あいさつ
達増 拓也 岩手県知事
（工藤 啓一郎 岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課長代読）



歓迎のあいさつ
高橋 敏彦 北上市長
（及川 義明 副市長代読）



次期開催県挨拶
石川 一美 宮城県スポーツ推進委員協議会会長



閉会のことば
村里 洋子 岩手県スポーツ推進委員協議会副会長



表彰式



謝 辞
鈴木 悦子 岩手県一関市スポーツ推進委員

目 次

1	開催要項	4
2	参加者数一覧	6
3	功労者表彰者名簿	7
4	講演Ⅰ	13
5	講演Ⅱ(スポーツ対談)	33
6	実技研修	55

平成 29 年度第 55 回東北地区スポーツ推進委員研修会岩手県大会開催要項

- 1 目 的 地域スポーツの推進者としての役割を担うスポーツ推進委員の資質の向上を図るため、東北各県から市町村において中心になって活躍しているスポーツ推進委員の参集を求め、地域スポーツの普及・振興に関する諸事項について、講演や実技研修を通して研修を行う。
- 2 主 催 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 東北地区スポーツ推進委員協議会
岩手県スポーツ推進委員協議会 岩手県
- 3 共 催 北上市 西和賀町教育委員会 花巻市
- 4 主 管 平成 29 年度東北地区スポーツ推進委員研修会岩手県大会実行委員会
- 5 後 援 スポーツ庁 青森県教育委員会 宮城県教育委員会 福島県
山形県教育委員会 秋田県
- 6 期 日 平成 29 年 7 月 7 日（金）～8 日（土）
- 7 会 場 【7 月 7 日（金）】
北上市文化交流センター さくらホール
〒024-0084 北上市さくら通り二丁目 1 番 1 号 ☎0197-61-3300
【7 月 8 日（土）】
北上総合運動公園・北上総合体育館
〒024-0051 北上市相去町高前檀 27-36 ☎0197-67-6720
北上市多目的催事場
〒024-0334 北上市和賀町藤根 17 地割 4-1 ☎0197-73-5964
北上市立公園展勝地
〒024-0043 北上市立花 14 地割
- 8 参加対象 東北各市町村のスポーツ推進委員、東北各県、各市町村スポーツ主管職員等

9 大会日程 1 日目【7 月 7 日(金)】

11:00～	12:00～	12:15～13:20	13:30～15:00	15:10～	15:40～17:00
受付 昼食	表彰式 リハーサル	開会式 表彰式	休憩 講演Ⅰ	休憩 アトラク ション	講演Ⅱ 《スポーツ対談》

2 日目【7 月 8 日(土)】

8:45～	9:00～	11:30～	12:00
受付 (各会場)	実技研修	閉会式	解散 (各会場)

10 研修内容

(1) 1日目 7月7日(金)

【講演Ⅰ】演題：「ラグビーのまち・釜石の挑戦～スポーツで地方を元気に～」(仮題)

講師：増田 久士 氏

釜石市総務企画部 ラグビーワールドカップ 2019 推進室次長

【歓迎アトラクション】 北上翔南高等学校 鬼剣舞部

【講演Ⅱ】テーマ：第2期スポーツ基本計画スタート～もっと「スポーツの価値」を伝えよう
《スポーツ対談》

講師：登壇者① 岡崎 朋美(長野オリンピックスピードスケート銅メダリスト)

登壇者② 澁谷 茂樹(笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所主席研究員)

(2) 2日目 7月8日(土)

【実技1】きたかみ散策・健康ウォーキング **希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ**

会場：北上市立公園展勝地、みちのく民俗村ほか

講師：北上市ウォーキング協会

【実技2】ディスクゴルフ **希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ**

会場：北上総合運動公園内(雨天時 北上総合体育館 大アリーナ)

講師：岩手県フライングディスク協会

【実技3】室内雪合戦 **希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ**

会場：北上総合体育館 大アリーナ(雨天時 北上総合体育館 小アリーナ)

講師：西和賀町雪合戦協会

【実技4】クップ **希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ**

会場：北上市多目的催事場

講師：岩手県クップ協会

11 参加申込

(1) 参加料(資料代) 1,000 円

(2) 申込方法 開催「ご案内」冊子を参照のうえ、各市町村で参加者を取りまとめ、別紙様式により申込みください。(郵送又はFAX、E-mail)

(3) 申込先 株式会社 北上交通観光 TEL:0197-64-1241 FAX:0197-63-4288

(4) 申込締切日 平成29年6月1日(木) 必着

12 留意事項

(1) 表彰式では、受賞者の服装はジャージ不可(代理者も含む)をお願いいたします。

(2) 2日目実技研修では、運動のできる服装でお越しください。また、室内競技では体育館用シューズを持参願います。(実技「クップ」会場は外履き)

(3) 実技研修の人数調整をする場合があります。

(4) 各自傷害保険に加入願います。

平成29年度 第55回東北地区スポーツ推進委員研修会 参加者数一覧

1. 参加者数集計

	人数
青森県	95
岩手県	305
宮城県	230
福島県	143
山形県	131
秋田県	173
合計	1,077

2. 実技研修参加者数

	きたかみ散策・ 健康ウォーキング	ディスク ゴルフ	室内雪合戦	クッブ	合 計
青森県	40	22	9	6	77
岩手県	77	61	20	87	245
宮城県	107	21	15	69	212
福島県	57	9	23	19	108
山形県	31	29	8	49	117
秋田県	54	22	22	31	129
合計	366	164	97	261	888

平成29年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者【青森県】

No.	市町村名	氏 名	ス推年数
1	ひらないまち 平内町	さかい あさこ 坂 井 あさ子	17
2	つるたまち 鶴田町	くどう みつお 工 藤 光 雄	15
3	おおわにまち 大鰐町	おおかわ のぶまさ 大 川 信 昌	24
4	みさわし 三沢市	ほそい ゆたか 細 井 豊	16
5	しんごうむら 新郷村	まつもり みつひろ 松 森 光 広	20
6	あじがさわまち 鱒ヶ沢町	じん るみこ 神 ルミ子	15
7	ろくのへまち 六戸町	ささき さだじろう 佐々木 定次郎	15
8	なんぶちよう 南部町	でまち みゆき 出 町 幸	22
9	あじがさわまち 鱒ヶ沢町	てらさわ りょうえつ 寺 澤 良 悦	15
10	おいらせちよう おいらせ町	さいとう とし 齋 藤 ト シ	15
11	さんのへまち 三戸町	ねだて みつる 根 立 満	15

平成29年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者【岩手県】

No.	市町村名	氏 名	ス推年数
1	もりおかし 盛岡市	ささき けいいち 佐々木 圭 一	23
2	やはばちよう 矢巾町	たかのはし ゆうこ 鷹 觜 祐 子	21
3	いちのせきし 一関市	すずき えつこ 鈴 木 悦 子	21
4	いちのせきし 一関市	ささき とおる 佐々木 亨	21
5	おおふなとし 大船渡市	あずま よしえ 東 芳 江	21
6	ひろのちょう 洋野町	ばば ちかこ 馬 場 千夏子	20
7	ひろのちょう 洋野町	あおさわ まなぶ 青 澤 学	26
8	ひろのちょう 洋野町	ささき ふり 佐々木 フ リ	26
9	いちのへまち 一戸町	にしだて くにこ 西 舘 クニ子	21
10	いちのへまち 一戸町	たかだ てつこ 高 田 哲 子	21
11	いちのへまち 一戸町	あらき ひろゆき 荒 木 裕 之	21

平成29年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者【宮城県】

No.	市町村名	氏 名	ス推年数
1	みなみさんりくちょう 南三陸町	さとう ふくこ 佐 藤 ふく子	22
2	せんだいし 仙台市	おおた こうさく 太 田 幸 作	22
3	おおさきし 大崎市	くまがい やすまさ 熊 谷 安 正	22
4	せんだいし 仙台市	やまや のぶお 山 谷 信 夫	22
5	なとりし 名取市	ちば かおり 千 葉 かおり	22
6	いしのまきし 石巻市	ささき まもる 佐々木 守	22
7	せんだいし 仙台市	おおたき しゅうこう 大 滝 周 広	22
8	とめし 登米市	わたなべ ともこ 渡 邊 知 子	22
9	けせんぬまし 気仙沼市	すずき たかと 鈴 木 高 登	22
10	けせんぬまし 気仙沼市	むらかみ けんじ 村 上 賢 治	22
11	かわさきまち 川崎町	おかだ ちえこ 岡 田 千枝子	21
12	りふちよう 利府町	おがた しずこ 尾 形 静 子	21
13	りふちよう 利府町	いしい ゆうじ 石 井 右 示	21
14	りふちよう 利府町	たんの まさのり 丹 野 正 則	21
15	ひがしまつしまし 東松島市	ふくはら すみこ 福 原 すみ子	21
16	とめし 登米市	さとう けいいち 佐 藤 敬 一	21

平成29年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者【福島県】

No.	市町村名	氏 名	ス推年数
1	かわまたまち 川俣町	うじいえ みよこ 氏 家 美代子	20
2	だてし 伊達市	さいとう まさはる 齋 藤 正 明	30
3	だてし 伊達市	かんの こういち 菅 野 幸 一	29
4	おおたまむら 大玉村	たけだ ともみち 武 田 智 道	27
5	こおりやまし 郡山市	なかはら よしのり 中 原 喜 範	26
6	かがみいしまち 鏡石町	よした たけお 吉 田 武 夫	19
7	ふるどのまち 古殿町	みずの れいこ 水 野 礼 子	21
8	たむらし 田村市	しおた りゅういち 塩 田 隆 一	21
9	にしごうむら 西郷村	たかだ まさお 高 田 雅 雄	20
10	たなぐらまち 棚倉町	はしもと よしじ 橋 本 義 治	20
11	いなわしろまち 猪苗代町	すずき ともこ 鈴 木 智 子	22
12	ゆがわむら 湯川村	おぬま ゆきこ 小 沼 幸 子	23
13	やないづまち 柳津町	たさき ためひろ 田 崎 為 浩	25
14	みなみあいづまち 南会津町	くまがや よりこ 熊ヶ谷 頼 子	21
15	かわうちむら 川内村	よこた きみこ 横 田 喜美子	24
16	いわきし いわき市	くしだ しょういち 櫛 田 庄 一	20

平成29年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者【山形県】

No.	市町村名	氏 名	ス推年数
1	やまがたし 山形市	ほり けんいち 堀 健 一	17
2	かみのやまし 上山市	ささき ひさし 佐々木 壽	17
3	かほくちょう 河北町	はるた こうすけ 春 田 晃 介	22
4	かほくちょう 河北町	たんの えみこ 丹 野 笑 子	20
5	ひがしねし 東根市	おおえ ひでとし 大 江 秀 寿	18
6	しんじょうし 新庄市	いのうえ きよこ 井 上 清 子	26
7	とざわむら 戸沢村	あじき ひとみ 安 食 仁 美	17
8	ながいし 長井市	すずき ゆみこ 鈴 木 裕美子	27
9	なんようし 南陽市	たなか ちあき 田 中 千 秋	21
10	いいでまち 飯豊町	すずき いずみ 鈴 木 泉	15
11	つるおかし 鶴岡市	きしい ひろき 岸 井 宏 樹	15
12	つるおかし 鶴岡市	あきの しげや 秋 野 重 弥	15
13	さかたし 酒田市	しばた としひこ 柴 田 俊 彦	17

平成29年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者【秋田県】

No.	市町村名	氏 名	ス推年数
1	かつのし 鹿角市	まえた かねみつ 前 田 金 充	28
2	きたあきたし 北秋田市	くどう せいいち 工 藤 清 一	25
3	みたねちょう 三種町	みうら よしあき 三 浦 由 明	23
4	おがし 男鹿市	さいとう えいいち 齊 藤 英 一	25
5	ごじょうめまち 五城目町	たておか ようこ 館 岡 陽 子	24
6	あきたし 秋田市	ごとう りえこ 後 藤 利恵子	22
7	ゆりほんじょうし 由利本荘市	わたなべ じゅんきち 渡 邊 純 吉	26
8	ゆりほんじょうし 由利本荘市	たかはし ゆきこ 高 橋 ゆき子	26
9	みさとちょう 美郷町	なかの ますみ 中 野 益 美	22
10	よこてし 横手市	わたなべ たかし 渡 部 卓	17
11	ゆざわし 湯沢市	たかはし よしのり 高 橋 美 雅	19
12	ゆざわし 湯沢市	ねもと ひろこ 根 本 弘 子	19

講演Ⅰ

演 題：「ラグビーのまち・釜石の挑戦～スポーツで地方を元気に～」

講 師：増田 久士 氏

（釜石市総務企画部 ラグビーワールドカップ2019推進室次長）



増田 久士 氏（ますだ ひさし）

出生地 愛媛県

1963年～1970年 大阪市

1970年～1978年 奈良県

1981年 鹿児島市 ラ・サール高校卒

1982年 東京大学文科Ⅲ類入学

～1986年 ラグビー部所属

1992年 東京大学文学部フランス文学科卒業

1995年～ 関東ラグビーフットボール協会所属

(財)日本ラグビーフットボール協会職員

2006年 筑波大学修士課程体育研究科スポーツ健康
プロモーションシステム・マネジメント
専攻卒業

【職歴】

2006年～ 釜石シーウェイブスR F C 事務局長

2014年～ 釜石市 教育委員会事務局 スポーツ推進課
ラグビーワールドカップ誘致推進室
(岩手県任期付採用、釜石市派遣職員)

2015年4月～ 釜石市総務企画部ラグビーワールドカップ推進室
(釜石市任期付職員)

2016年4月～ 釜石市総務企画部ラグビーワールドカップ2019推進室（正職）

演題：「ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催に向けて ラグビーのまち・釜石の挑戦～スポーツの力で地域を元気に～」

皆さん、こんにちは。

本日はこのような場にお招きいただきましてありがとうございます。

私は、1963年昭和38年生まれの当年54歳です。先輩諸氏の皆様もいらっしゃいます前で大変僭越ではございますが、演題「ラグビーのまち・釜石の挑戦～スポーツの力で地域を元気に～」ということで話させていただきたいと思います。

今日は7月7日は七夕、織姫と彦星というのは皆さん日本人であればみんな知ってることですが、織姫が何って言う星で、彦星が何っていう星かを今言える人ちょっと手をあげていただいてもいいですか。ネットとかスマホとか調べるのはなしですよ。私も調べました。そういう星の名前を知ってるのも風物詩になりますから、例えば、琴座のベガとか、鷲座のアルタイルとかそういう名前を何となし知っているとどこかで何かの役に立つかもしれない。私、実はですね、小さいとき星を見るのが好きで、特に西のほうに住んでいて空気が北の方ほど澄んだ空気じゃなかったのですが冬の星空はよく眺めていました。オリオン座とか大犬座のシリウスとかは友達だったんですけど、こちらに来て、夜天気の良いときは星空がすごくきれいなんです。いろんな自然の自慢はありますが北国岩手の星空も自慢できるものだと思います。友達が冬の星座だったのでこちらに来て冬の星座を見ようとしたんですけども寒さに凍えてやめました。(笑) 今は夏の星座のほうが友達なので、今夜ぐらいまた星空眺めたいと思ってます。

地方と地域

なぜこんな話をしたかというところでですね、演題でちょっと違うところがあるんです。プログラムは「地方を元気に」となっています。私のパワポのほうは「地域を元気に」としました。地方と地域ってどう違うか。どっちも英語に訳すとregion（レリジョン）って出てくるので、同じじゃないかっていう見方もあるんですけども、明らかに扱い方が違って、地方創生といったときは都会に比べて地方っていう言い方ですね。地域を元気にとか地域のためにとか言う場合はどちらかという人が住んでいる地域、コミュニティを指します。皆さま地域スポーツ推進委員ということでコミュニティスポーツっていうところに取り組んでらっしゃると思いますので、田舎だったり、地方だったりというところに、いわゆる人が住んで、その人々が自然とともにその風土で生きているというのが地域なんじゃないかと思っています。そういった小さい言葉の使い方ですけども違いが若干あると思っていたら、東京にもそういう風に考えてくれる人たちがいて、その人たちと昨年一年掛けて一緒に作った釜石のプロモーションビデオがありますので、イントロで見ていただきたいと思います。

〔ビデオ視聴〕

はい、ありがとうございました。よく地元で町の人たちと話すのですが、復興はスポーツに似ています。特にラグビーに似ている。皆で手を取り合っているわけでないし、ちゃんとした話ができるわけでもないが同じ方向に向かって皆で進んでいる。誰かがボールを持ってその人が走って、その後を誰かが追いかけていく。ボールを皆で繋いでいく。その気持ちが地域なるものを作る。釜石がワールドカップを開催するにあたってどのようなコンセプトでどのようにイギリス人を口説いたのか。その次に実際に2015年のイングランドで行われたラグビーワールドカップ大会の視察に行った報告をさせていただきたい。最後にスポーツ全般をまとめた話の3部構成で話していきます。大体1時間くらいで話していきたいと思います。

前人未到 新日鉄釜石のレジェンド

釜石は88%が山、面積が横浜とほぼ一緒、横浜438[＊]。平米、釜石が441キロ平米、人口は横浜の百分の一、横浜はラグビーワールドカップの決勝の会場がある場所。現在5万人以上の競技場を持っているのは横浜だけ。釜石は1万6千人収容できる。3万6千の町に1万6千人が来られるので大騒ぎになりそう。釜石にはラグビーの根があります。ラグビーの町の伝統というのは、ある年代よりも上の人はご存知かと思いますが、松尾さんがいて、洞口さんがいて、森さんがいた前人未踏の「V7」を成し遂げて、79年から85年まで日本一の優勝旗を毎回持ち帰ってきた。その前に77年に優勝、78年はゴールを外してしまいベスト4。その後神戸製鋼も7年連続日本一を果たすが8年連続優勝はできなかった。震災の年に優勝できなかったこともあったため、「7連覇」この数字がレジェンドという伝統が根付いています。

釜石 イズ ア ファンタスティック ラグビータウン

「釜石 イズ ア ファンタスティック ラグビータウン」と言ったのが前回のラグビーワールドカップのエディジョーンズ監督。ワールドカップに行く前にワールドカップ終了後、釜石に訪れるように軽い約束をしてきていたが活躍が認められ、イングランドの監督に帰国前に引っ張られてしまったためまだ来られていません。元々釜石のことを熱く応援していて、ビデオメッセージを寄せていました。その町で震災が起こったときにラグビーを釜石が忘れていたわけではないですが、全体的にV7のときほど活躍していたわけではなく、クラブチームになった始めは低迷期が続いたときもありました。ただ町の中に一つのラグビーチームがあることは微かな灯火でもあり誇りでもありました。震災のときラグビー選手が非常に役に立ちました。重機が入れない場所についての荷物運びや車椅子の人たちを持ち上げたり、人間の骨格筋の力は役に立つ。元々のエネルギー（電気、ガソリン）が無いので、物を引っ張ったり持ち上げたりするときにラグビー選手の筋肉が非常に役に立ちました。ラグビー選手は外国人選手も日本人選手もですが、スポーツ選手は明るい、時には明るすぎて心配になる人もいますが、非常に明るいことは悲壮感漂う町の人たちの中に入って常に笑いを届けていました。外国の選手の方も帰らずに残ってくれました。一緒に乗り越えた分、「釜石ってラグビーあったんだね」と思ってくれました。むしろ「少し落ち着いたなら早く練習してラグビー強くなってね」と言われたということがありました。

鵜住居の奇跡

釜石でもしかしたら2019年のワールドカップに立候補できるんじゃないかという話が出てきました。出てきたのはいいが会場が必要になってきます。どこに会場を作るのか。たまたま被災したとき釜石の子ども達は多くの割合で助かっています。亡くなったお子さんは病気等で学校に行ってなくて家にいた子か親などのご家族が連れて帰った子。学校にいた子どもたち、下校した子ども達は率先して避難行動を取ってくれた。子どもが大人の命も救ったり、鵜住居にある跡地になっていた学校、現在は山の上のほうに新しい学校ができたのですが、当時600人くらいの生徒がいた鵜住居小学校と釜石東中学校は日ごろから避難訓練をしていました。走って逃げる訓練をしていた。震災時は少しパニック状態になってしまいましたが、一旦屋上に上がり、様子を見ていた。地元の消防団の声がけもあり、普段の避難訓練通り、中学生が小学生の手を引いて、皆で逃げました。皆助かりました。全員学校関係者が救われたわけではないので手放しで奇跡と喜べないのですが、報道されたとき釜石の人たちの元気に繋がりました。いろいろな意味で海の目の前の学校から走って逃げて助かったというのが非常にインパクトをもって世界に伝えられました。そのようなシンボリックなところにスタジアムを建てれば震災の状況などを未来永劫伝えていけるのではないかと思います。

もう一つは学校の跡地のため、土地を新たに購入する必要が無い。その土地を有効に活用するためには跡地にスタジアムを作ったかどうか。さらに大きなインパクトとしてラグビーワールドカップを行うとき、日本のチベットと言わしめた釜石。内陸の人は分かると思いますが、釜石は遠いというイメージがあります。三陸沿岸まで行くには新幹線の駅から2時間はかかります。100km近い距離を行かなければ行けません。2011年の状態では無理でした。震災があったことにより、道路の整備計画がスピードアップして10年で工事が終わります。うまくいけば2018年には完成する。道路と一緒に三陸鉄道はいち早く復旧しました。JRは黒字であり、なかなか国からお金が入らなかったため、復旧はなかなかできませんでした。JR山田線を復旧させる動きがあり、2018年には開通させようという流れになりました。道路も縦貫道が開通すれば仙台まで2時間ちょっとで行けるようになります。北上までもずいぶん道路が整備され1時間で行けるようになりました。スタジアムが釜石にあっても日帰りで行けるようになるので、開催は可能になるということを海外の方にも訴えました。釜石でラグビーワールドカップを行いたいと。

ワールドカップラグビー釜石・日本開催

ワールドカップは世界の20カ国、国や地域という言い方をします。イングランドという国とウェールズ、スコットランド、アイルランドという地域にイギリスは分かれますので、20の国や地域代表が4年に1度集まってサッカーのワールドカップと一緒にです。サッカーのワールドカップはもっと参加チーム数が多いですが、約7週間に渡って予選を経て、決勝トーナメントやって世界一を決める大会です。

今回の2019年大会は9月20日に始まって11月2日に決勝戦が行われることは決まっています。2年後のことなのですが、今年9月18日に釜石を含めて予選会場がどこで何試合どの時間にどこで行われるということは決まりますので、まもなく組み合わせが決まるというところです。

今のところスタートが9月20日から10月12日の間で2試合多ければ3試合釜石で行われることになるだろうと思っています。

予選プールでA、B、C、Dにこの間5月10日に京都で抽選会がありまして、日本はプールAに決まりましたが、4位、5位というところが決まっています。4位、5位のところはそれぞれまだ出場チームが決まっていなくて、この前アメリカ地区の1位がアメリカに決まったばかりで、後のところはちょっと長くかかって来年8月頃までかかる予定です。

強いところだとスポーツ新聞には書いてましたが、ヨーロッパはジョージアのつぎはルーマニア、スペイン、オセアニアのチームだとトンガ、フィジー、サモアは必ずワールドカップには出てくるので入ってくるだろう。アメリカ地区だとカナダが4位、5位のところに入ってきます。となると4、5位のところが釜石で対戦する可能性が非常に高い。3位までのところが釜石に来ないかわれどと来るかもしれないが、例えば、ニュージーランド対南アフリカの試合はたとえ予選であっても4万人以上のところでやるだろうという推測の範囲内をでません。

9月18日にカードを決めて来年の1月にはチケットを先行販売します。先行販売は誰にチケットを売るか、1つはワールドカップのサポーターに登録している人。サポーターに登録するにはWEBサイトに行けばすぐ登録できます。番号とか暗証番号とか入れる必要が無く、名前と自分のメールアドレスで登録できて、それがサポータークラブというところで、中には偽名で登録している人もいるのではないかとはいくらか割り引きと緩やか。そういった人にも先行販売の案内がきます。もう一つは開催会場の自治体には先行販売の案内がきます。釜石市と岩手県にもどのくらい割り当てられるかは不明ですが、必ず1月には先行販売で買えます。一般販売も1ヶ月から2ヶ月後くらいからできるということになっています。

全国で12会場。北は札幌、南は熊本まで会場は決まっています。西日本が圧倒的に多く、九州が3、関西が2、東海・中部地方が2、関東が3、東北が1、北海道が1となっています。主催者組織委員会側も日本ラグビーフットボール協会もそうですが、できるだけ全国で展開したかった。各地域の活性化に役立てるようにラグビーの大会をしたかったということで、そういった要素も含めて、釜石が選ばれました。震災があって復興計画が進んでいて、ラグビーの伝統があって、地域を散らばせたかったというところの要素が絡み合っ過ぎてぎりぎり滑り込みました。スタジアムが無くて立候補したのは釜石だけで前代未聞です。ワールドカップでスタジアムが無くて立候補しているのは、オリンピックでは会場を作らないで立候補しますけれども、ワールドカップでは初めてだと聞いています。

経済効果とメディア

経済効果は銀行の試算によって指数とか最初の購買の値段を決めるところでだいぶ変わってきます。2,330億から4,200億というところで幅に開きがあります。全部の大会です。億の行政の仕事をすることになって今スタジアムとか作っているからようやく10億単位のお金をなんとなし仕事で扱うようになってきていますが、1,000億単位になってくると何がなんだか分かりません。我々のところ手元にはピンと来ない数字で、ただ岩手県でも経済研究所だったり、政策投資銀行なんかも同様に開催地効果っていうのを試算してくれて、それで80億から100億というところ、観光客の人が来て、開催地効果を試算してくれて80～100億円。観光客が使うお金を積算して積んでいき、使った人、使われた人達がまた使うお金も経済効果として出す分官公庁が出している指数による計算です。やり方によって変わるし、何もやらなければこれより数字が下がるかもしれないことは否めないです。

今小学校の跡地9haあります。1.7haは民有地を買いました。買うお金がなくて、お金もないのに土地を買うのと土地の購買の課に怒られていました。最初は銀行から借りて土地を買っていました。買っているうちに復興庁はお金がないからその分まで面倒をみてくれました。公園整備と山側の土地を買わなければ、谷になると危険で運動公園として役に立たないので山側の民有地23筆も買いました。全体で9haの公園整備ができるようになりました。メインスタジアム、サブグラウンドの用地です。北上の総合公園ほど立派ではない。サブグラウンドを作ってメインスタジアムを使えない時はサブグラウンドを使えるように考えていた。ワールドカップリミテットに見せたところサブグラウンドではなくテレビコンパウンドが欲しいと言われ、メディア最優先にしたのでしぶしぶ承諾しました。

釜石に来る前ラグビー協会に務めていました。日本ラグビー協会で管轄は大学のラグビーの面倒を見ていました。もともと54歳くらいで昔のスポーツの馴染みがあるので、メディア優先の目線でスポーツを見ることに慣れていません。ワールドカップではメディアが一番のお客さんでジャーナリストの中には活躍している人はいますが、そこに入ってにわか作りのラグビーの仕事をしている人もいます。そういう人達もラグビーワールドカップの価値を引っ張りあげなければと考えています。一番良い席はメディアのプレス用の部屋、デスクになっています。我々が作ろうとしたサブグラウンドをメディアコンパウンドとして、今回芝生にしてしまうとそこに鉄板を養生しなければいけないので、芝生にはせず土のグラウンドにしてトレーラーが入っても、へこまない仕組みにしました。

学校は反対側の丘を削って作りました。変わった建築設計事務所の方に作ってもらったので小学校は迷路のようになっています。小学生は毎日飽きず楽しいと言っています。駅、水門、防潮堤ができて、スタジアムができて、平成31年にワールドカップを迎えるということです。16000人収容、仮設席を10000席プラスした状態です。

スタジアムの建設

テレビコンパウンドになっています。外国の方、ワールドカップ絡みではなくメディア、ビジネスで押し並べて言うことは自然の中にあるスタジアムが良いといわれます。北上のスタジアムもですが都会とは違ったスタジアムでそれしか売れないと言われればそれまでですが、7月末に完成の予定で進めています。メインスタンドに白い屋根がかかっていますが当初もっとせまい屋根を計画していてメディアのために屋根を大きくしてくれと要望があり、当初の予定の3倍の大きさになりました。お金がかかるし、屋根をトタンで作るのは安いですが、終わった後それだけ残ったらみすばらしいスタンドになるのかと思った。そこに鶴住居のスタジアムにどういう思いを込めるのか含めた上で設計をしましょうということでデザインのキーワードに「羽ばたき、船出」を持たしてトラスの下にトランポリン屋根がかかって下に吊り下げられている東京駅の八重洲口の小さいバージョンの屋根にするということで了解を得ました。確かにお金が当初より膨らんで大変でしたが、各方面から補助金組み換え、増やしてもらいながら、ゆくゆくはラウンドマークになるように今設計を修了し、着工し建設しています。三階建てのやぐらの手前はロッカールームがある管理棟があり、大きなロッカールームが二つあり、簡単な医務室があるみたいな感じです。

メインを全部木の小屋にした理由は、木の屋根で、なんでかということと地元で木が産出できるからです。もう1つは、プレハブでおもてなしするより木造のロッチみたいな場所でおもてなしした方が受けがいいだろうと言うことで、三階建てやぐらに屋根を乗せて、その後樹の小屋をぽこぽこ入れていく構造になっている。木の小屋はその後、ロッチやレストランに使ってもいいし、皆で使う人と一緒に使い方の話し合いをはじめたところです。

着工して2ヶ月経って釘を打ち終わるところです。来月から観戦のための道路を架けるという話で夕方会議していましたが復興も考えなければいけないし、スタジアムも建てなければいけないため、工事がピーク状態です。他が推せばいろんなスケジュールを入れ子のように変えなければならぬ。今はスタジアムの工事は優先的に考えてくれていますので、2019年までに間に合わせる。その一年前くらいまでには公設のスタジアムを作る。各方面に協力を仰いでいるところです。

スタジアムにかかる事業費は39億を見込んでいます。国土交通省の公園整備、復興交付金とスポーツ振興センターのTOTOの助成金。TOTOの助成金をお願いしてから私も買うようになりました。一般財源で負担を手当てできない部分は8億円残っています。額ではなく気持ち的に半分くらい県にお願いしたいと検討してもらっているところです。基金を募って企業、個人から基金を募っています。5万円で1席名前が付く特典があり、一年3ヶ月で2億1000万円集まりました。ないお金8億を自分達で用意しないとイケない、市の財政では貯金があるわけではないので、年度負債が増えることになるのでそこは頑張りたいと思っています。

リッチマコー選手が釜石に

町の人達と一緒にになって色々な仕掛けを繰り返しています。いろいろな人達が釜石に訪ずれてくれます。リッチマコーという選手はNZのオールブラックスのキャプテンで伝説的な選手で今年来てくれました。仲の良い同じくダン・カーターというニュージーランドのオールブラックスの選手でドロップキックを蹴った選手です。NZに帰ってその方が釜石はいいところだったと話してくれて来てくれました。お陰様でリッチマコー選手は、北上の子ども達とふれあいを持って来てくれました。パブリックビューイングをやったり、ラグビーカフェでスタジアムの模型を飾ったりと一般の市民がやってくれています。市も事業費で充てているのですが、市職員の人数だけでは追いつかないので町の人と一緒にやっています。

東京ドームでラグビー釜石DAYをします。ヤクルトとジャイアンツの公式戦でワカメを配った

り抽選のプレゼントで海宝漬やラグビーのはまゆりのジャージが当たったり、郷土芸能の虎舞の披露等企画して釜石出身で東京在住の人、または釜石ラグビーを応援してくれている皆に集まってもらいました。約100名集まりました。東京ドームでは4万人毎晩集まりますから、そこで釜石の町でワールドカップをやることをアピールしてきたい。

9月に公式日程が決まるとき大町に新しい文化センターができ、劇場小屋が出来ています。そこでファンゾーンをやりたいと思っています。町の人達は2012年から小笠原満男さんと呼んだり、事業を様々繰り返したことでワールドカップを呼べたということです。私も元は町の人達の中にいましたが2年前に市役所に入って今は昔の仲間と一緒に仕事をしています。

2015ラグビーワールドカップの視察

第2パートはワールドカップ2015について。右上の写真は五郎丸がゴールキックを蹴るところです。最後のゴールキックなんですけど、決まってもはずしても勝つことは決まっていたので、みんな見ていなかったが、1人で一生懸命蹴っているから気の毒に思って写真を撮りました。下の方はグロスターで日本が1勝1敗したところ。15000席でそんなに大きくなく、ラグビーの伝統的なスタジアムと言われている。県の人も含めて開催20回以上の中では3万人以下のスタジアムが該当する場所です。一番小さいクラスのところの人たちが集まって第一パートとして大会の一番最初のほうを見ました。決勝が見れなくて残念でしたが、南アフリカの試合を目の前で見れてラッキーでした。イギリスはイングランド一部ウェールズでやった大会なんですけど、13会場ありました。8万人の会場が2つ以上あり、ウェンブリーは9万人集まります。ここはサッカーの聖地でサッカー以外やったことがない場所で、初めてラグビーの試合をやった場所です。ベスト4に入るチームではないのにそこを一杯にしてしまったのでさすがイギリス人の方々だなと思いました。

我々が行ったのは2つの会場で、イギリスに行ったのにロンドン塔、ビッグベン、大英博物館も行かなかったです。観光したかったのですが遊びじゃないのでと言われ、組織委員会はシビアだと思いました。最初に行ったのはブライトンアンドフォア、ブライトンはゲームが土日の2日間しか試合しない。ブライトンはサッカーチームがありサッカースタジアムもありますが、ラグビーは盛んではなくて、町に初めてラグビーをもってきた場所です。コミュニティースタジアムがあり、収容人数は2万2千人、秩父宮ラグビー場ぐらいの大きさです。2011年に建造した新しい場所です。イギリスは農業も立派にやっていて、郊外に行くと殆ど家が無くて農場です。町は港町でロンドンの近くにある港町です。鉄道から海を眺めたり、避暑で行ったりする場所。大体1時間くらいで着きます。立地的には非常にいい場所です。会議場としても使われていて、多くの会議が開かれ、観光名所としても名高い場所。人々はお客さんの扱いに慣れている。物腰が元々そういった町だからできる。海辺の栈橋の上に遊園地があって、その手前にファンゾーンを作り、ラグビーを発信しました。

グロスターは古風な町で昔からラグビーチームはあって、イングランドのホームグラウンドでした。ここは4試合やっている。期間は長かったので期間をあけて町自体がラグビーでお祭りムードになります。中学生の一段とツアーで連れてきてくれた子。普通スタジアムに竿持って入れないです。持って行くときにガードマンがいて荷物検査を行うことになり、説明していたら、ガードマンもめんどくさくなったのか、いけいけとなり、めでたく大漁旗を振ることができた。残念ながらスコットランドには負けたが、アメリカには勝って日本が2試合やった。奥は立ち見で、イギリスは昔のまんまの立ち見のラグビー場があって、そんなところでワールドカップをやっていて、うちも立ち見で良いかなといったら絶対駄目だと言われました。立ち見なら座席の分もお金がずいぶん楽になって、今頃ちょっと楽してるなと思ったんですけど。この町はローマ時代から開かれた。運河

のほとりにあって、船を造ったり、ウエールズの入口だったので交易をしてた。ここから新大陸に出る船もあったという話のようです。大聖堂があります。ハリーポッターのロケ地にもなったすごい大聖堂で、向こうの大聖堂は地下がすべて罫罫(しゃれこうべ)になっている。地下に死者が眠るこよう場所に聖堂を建てるのが向こうの人たちなんだと思いました。私達は公式視察だった為、市役所、地方行政の担当者から話をつぶさに聞きました。彼らは非常に熱心ですのでこれを機会に市役所に転職したという人もいました。

ブライトンもブロスターもそうですが、それぞれに目的をもって、ブライトンはラグビーをやったことが無かったので2日間でラグビーの大会をやって、ラグビーという新しい窓口、マーケティングで言えば違う部分、今までは会議やサッカーに絞っていたものをラグビーという窓口でも町に新しいカンフル剤を入れたい。

グロスターはラグビーの伝統的な町で、やることは自負している。地域の人達とどうやって楽しめるかといったところが非常に大きな特色。やっていることや組織作りは殆ど一緒です。大本のシティステアリンググループというぐるぐる回すグループがあって、月1回定期的な会合があって、やることはファンゾーンと輸送交通とマーケティング。これは組織委員会と一緒にやるんですけど、広告がバッティングしないように町の人に遠慮してもらう。同時に町を飾るということをやって、ラグビーレガシーを育てる、具体的には選手の数を増やすということ。地域がいかに連携するかということを考えるということを取り組みます。

向こうの人達は話し出すと涙ぐんでくる。一生懸命にやっている。若い人も年配の方もいましたが、感極まって泣き出します。なんだろうなと思ってたら、日本人もたまにそうゆうことがありますけど、僕もさっきのプロモーションビデオオまともに見ると泣いちゃうからまともに見ないんですけど、想いがあるから仕事に取り組んでいて、そこは日本もヨーロッパも一緒だと感じました。

Fun zone & City dressing

これはファンゾーンです。ファンゾーンって言うのは前々回の大会からコンセプトが固まってきて、町の中にラグビーを発信できる場所をエリア限定した場所を設けて、そこは入場が無料で中に入ると例えばビールはハイネケンしか売っていない。ハイネケンが公式スポンサーだから、コマーシャルできるのは公式スポンサーに限ります。同じ業種だったら。こっちだって日本酒もどこも入らないと思うので、ここにどういうお酒を置いても売れます。やっていることは、食べ物、飲み物、お酒も含めて飲み物、ラグビーの映像を大きい映像装置で流す。オフィシャルグッズを売る。子供の遊具も置いて、町でラグビーをする場所の発信基地にしている。

お祭り広場を運営している人も町の人で、結構楽しそうにやっていてボランティアの人たちや障がい者も手伝いに来て、微笑ましく思います。どこに、何を作ろうかというコンセプトを長く話し合ったようだが「話した末にこうなったんですよ。だから良かったね。」というような話し合いになった。

ただ、空気を入れた遊具が停電により萎んで行っただが全然気にしていなかった。「大丈夫、すぐ解決するから」と笑顔で言っているところは、その時点で焦ったところで空気が入るわけではない。所定の行動で回復すればいいと思えば、笑顔で励ましたほうがいいにはいいんですよ。勉強になりました。これがシティドレッシングです。町の試合で使う国旗、ロゴのカラートーンを同じにした装飾をすることです。装飾があって駅から歩いていく道までフライミレッツとはラグビーのスポンサーになっています。ドバイの航空会社とか、マスターカードとかそういったところがメインのスポンサーになっています。スポンサーを大事にするとその感覚に慣れないといけない。最大の利益を生むことになるので大事にするといい。バッティングしたら嫌がられるとか制

限があるようには感じないというのは彼らが慣れていると思いました。試合会場もブライトンの南アフリカに日本が勝ったスタジアムだが、アメックススタジアムという名前が使えない。看板も隠していた。左のほうで日本人応援団がいたが、その後ろの白い看板が1つあると思いますが試合会場から500mの中にあるメインの会社とバッティングする看板、ボルボの看板だったんですけど、車はローバーがメインで入っているの、そこの看板は隠す。500mの外では良いという話で、こういうルールを作ることによってメインのスポンサーとの付き合いを大事にするというのがワールドカップです。

ワールドラグビーも日本のラグビーフットボール協会と一緒に公益財団法人。イギリスの言い方は違いますが、お金儲けができない。でもお金儲けしないとラグビーが普及しないというところでラグビーワールドカップを開催するときはラグビーワールドカップリミテッドという会社を作りました。リミテッドというのは株式会社とか何とか限定会社とか言うのです。ラグビーワールドカップリミテッドは、利益を求めます。入場料を稼いだり、スポンサーを獲得して放映権として、いろんな国に売るといったところで多大な利益を稼いで、ワールドラグビーを4年間運営できる仕組みになっています。金額の動く幅が大きいし、国際的なイベント、世界の3大イベントのうちの1つといわれているのでいろいろなものが動きます。アジアで開催するのは初めてなので、今回スポンサーの制限、ライトプロテクションとかがかかってきたときに日本のいろんな開催都市でどういうふうにやるか、大阪はバッタモンがでてくるでしょうし、岩手でもそういうものがでてくるでしょうから、そことどう付き合うか、そこは我々にとっては経験になるのかなと思う。

Hospitality program

ホスピタリティプログラムがあります。基本的向こうのラグビーの観戦者のお金持ち層です。7,80万払って一つの試合を見に行っています。ある人によるとさらに払っているという。何があるのかというとディナーパーティがあります。皆でお酒を飲みながらラグビーのレジェンドの話を聞いて、ワインと食事を楽しんだ後、試合を個々の部屋から外へ出て見ると、見終わった後ファンクションの形でやる。こじんまりした部屋もあり、そこは会社同士のお付き合いだったり、大きいスタジアムになれば貸切の部屋もあり、東京ドームなんかもそうですけどスイートルームもあります。そこでビジネスに使うことで成り立っています。

ここまでの部屋を我々のスタジアムでは用意できませんが、木の部屋を用意して、展開しようかと考えています。イギリスでも神経を使っていたのは移動です。イギリスの交通事情は良いといながら台数制限したり、町の人たちにはできるだけ乗用車の台数を抑える。乗用車で来た人は誘導し、バスで送るパーク&シャトルの交通方法を取っている。インターネットで買う際、どうやってくるかアンケートに答えるのが1週間前で、イギリスが難儀したのはどうやってその人たちが動くのかよむのが大変でした。

実際にブライトンは2階建てのバスのため沢山乗車できますが、300人くらいキックオフに間に合わなかった。帰り電車で殺到したためチケットの自動販売機が故障してチケットが売れなくなった。そのためブライトンまで無料で乗せた。イギリス人はそういうことがあっても大変は大変でも「ラーニング」と言います。そう言われると気分が楽になります。イギリス人の賢いところ、見習うべきところは失敗とは言わず「学習」と言う。また、通訳の方が課題の訳し方を「チャレンジ」と言う言葉で表現します。課題、宿題といわれると肩に押し掛かって早くやめたい気分になるが、「チャレンジ」と言われるとやってみようという気になります。何百年続いた彼らのたくましさ言葉の使い方にも出てくるので見習いたいと思い、それだけの日本人でありたいと感じた。一年間研修を受けたボランティアは無報酬ですが交通費、宿泊費、支給品もらえる話はしていた。ボランティ

アはもともとのキャラクターが気さくでなければならない。

釜石観音にジャージを着せよう！

コミュニティーエンゲージメントという地域とどう連携するか、いかに肩を組んでやるか、手を組んでやるかみたいな話です。ありとあらゆる、町のお祭りをラグビーにかこつけてラグビーという名前を入れてました。私らも今度東京ドームでラグビー釜石DAYをやるが、ラグビーと名前を付けちゃえばなんでも町のお祭りでも冠になる。姿勢施工50周年記念とかあるがそういう行事ごと全部ラグビーの冠をつける。シティドレッシングでもとんでもなくビックリすることもできる。ウェールズのカーデフの町にある古城の城壁に蹴ったボールがめり込んだ様子で観光名所的な場所になっている。上手にできてるし、洒落も効いてるから熊本城でもやってみようと言っていたが、彼らはその直後地震があったため、できなくなってしまって気の毒なんですけど、なんでも真似するというよりも、自分達で考えてやってみるのはどうかなって、我々で考えていることは釜石観音にジャージを着せようと言っているが「どうやってやるの？」っていう話はあるんですが、今プロジェクトマップピングとか色々ありますから、どっかで誰かに相談して、誰かができるようにすれば面白いと思う。おもしろいに共感を得ているが、どうやってやるかはこれからなんですけど。

東ロータリークラブがお金を出していて、6人が各学校の選抜された中学生が皆で見てみようという話で2019年には我々も19歳だからという話でやってます。

2015年が日本代表が頑張ってくれたからほんどこまでこれたのかなって感謝してますがこれからも継続して強くなっていくと思いますし、そういうものに引っ張られてラグビーが皆さんも感じてくれたと思いますが、モード盛り返しぎみなのでというところです。

スポーツと時代の変遷

第3のパートなんですけど、スポーツ基本法が2011年に施行されました。こんなニュースを読む暇が無い時期だったんですけども、圧倒的に違います。法律があるのとないないのでは。何が違うか、国の動きが、お金の動きが、人の動きが違います。こういう施策というのは大事なところで、それがないと今までもスポーツ産業があって、なんとなしにスポーツが好きだから、そうやって商売、ビジネスになって、プロのスポーツって言うのもあったんですけども、圧倒的にここからがスタートで変わっていくはずなんです。ただすぐには変わりません。なじむまでには1世代2世代となっていくと思います。目指せ世界一っていうかヨーロッパのスポーツ大国を追い抜く。

イギリスもこのような歩みで一時期スポーツが途絶えて、というか低迷する時期はありましたが、いろんな施策を繰り返すことで、ロンドンオリンピックだったり、ラグビーワールドカップだったりとうことを成功させたという例もあります。

そんな昔からスポーツは皆あったのかというと、殆ど昔は無いです。1986年～2006年まで新聞を一生懸命捜して、何ページ新聞にスポーツが載っているか調べたんですけど、たった20年の期間で1ヶ月集計で一日平均1.5ページしか載っていなかったのが、最後のほうになると3.9ページ、2倍以上スポーツが溢れてきた。2006年のお正月の記事ですが、ちょうどトリノオリンピックの年なんですけど、フィギアの浅田真央ちゃんが結構注目されていたんだけど、年が行かなくてトリノには出れなかった残念なときだった。

日本人が、新聞協会が何年かに一回調査しています。「あなたはどこから読みますか？」というのを聞いてそれを%で表しているんですけど、男性ではスポーツが一番、女性は地域の出来事、生活、料理で2011年の調査ですので今とは少し違うかもしれませんが、スポーツがベスト3に入っていない。男性女性の違いはあるがスポーツは家族の話題となり、自ずと身近に感じられるように

なっている。日本の新聞とヨーロッパの新聞は取り上げるスポーツの内容の記事が違うと言われています。そういう新聞をピックアップしてどちらもイギリスのメジャーな新聞社タイムスとガーディアン、ガーディアンは名前はメジャーですけど発行部数は多くないです。日本で言うと岩手日報に比べても発行部数少ないですね。独自の取材とかスクープが多いので非常に有名な新聞ですけど。日本と何が違うかと言いますと、サッカーの試合の次の日の新聞で試合の内容だったり選手のプレーは取り上げられているが、それにプラスして何が多いか、イギリスの新聞はいかにフェアに戦ったか、またその時のレフリングジャッジメントはどうだったのかという話が多かった。そこが圧倒的に違います。メディアによってスポーツの質が変わるのではなく、スポーツの質の違いがメディアを変えると。我々が何を求めているかによってメディアも扱うものを変わってきます。いっぺんには変わらなくても日本の新聞もあの選手がどうした、この選手がどうしたって移籍金はどうだって移籍金は大事な話ですけど。じゃあどこがこの人たちはフェアに戦ったのか、どこが素晴らしかったんだみたいな所をつぶさにメディアに載せる日は必ず来ると思って今スポーツに取り組みたいと思う。どちらが優れていたということではない。彼らのほうが長くスポーツに携わっていたということ。

「カルチョ・ストリコ」フットボールの起源

元々フットボールの起源は、ヨーロッパの古いお祭りにあったとされている。再現したような形なんですけど、これは決して1500年の写真が残っていたわけではないですけど、2002年の写真なんですけど、今でもこんな風にフィレンツェでは、これはフットボールでもなんでもない。ヘッドロックしてたり、ただ適当に歩いていたりそういうふうなのが「カルチョ・ストリコ」というんですけど、これがフットボールの起源だろうと言われている。こういう地方でやっていた祭をパブリックスクールというところに、商人だったり商工会系の子どもを集めたときに、それぞれが寮に入っていたわけですから、一緒にやり出したところからルールが生み出され、球を使ったほうが面白いので、球も丸い球だったり、細長い球だったり、小さいピンポン玉だったりしたものを使っているんなスポーツを編み出して行って、それが近代スポーツといわれるようになったというおさらいです。これは時間がかかったわけではなく、100年のうちに日本にも広まった。日本もちょうど明治維新でイギリスの学校制度を取り入れたときに、あるいは学校制度と一緒に軍事制度みたいなものを取り入れたときに、必ず役に立つと持ってきたのはフットボールであり、ラグビーであった。キャプテンシーだったり、人を助けるとか仲間、チームワークとかそういった意味でフットボールは非常に役に立った。昔はそういうこともあって30人制であったり、20人制だったり、適当です。その時々でお互いのチーム同士が良いといった方法でやる。だんだんと見物人も多くなってきました。多くなったらゲートマナーを取ろうという話になり、だんだんゲートマナーを取ったら、アマチュア、プロがでてきていろんな流派が出てきた。

スポーツですから何が一番重要視されたかというルールと審判とフェアプレー。フェアプレーは正々堂々と同じコンディションで戦うとかそれを担保するのがルールであり、それをキープする、維持するのが審判。この3つがないとスポーツは成り立たない。対戦型のスポーツにはこの3つは必須要素であり、ないと成り立たない。世界に伝播したラグビーフットボールということで、一番最初は1500年頃にカルチアストルクオという田舎のお祭りだったんですけど、1800年近代スポーツとして生まれた。早くも100年後には地球の反対側までニュージーランドまで来てました。もちろん日本にも来てました。ニュージーランドでは1905〜6年、オールブラックスというチームを編成して本国イギリスに行って勝って帰ったという話。たった100年で広がった。タバコとかお酒の醗酵ウィスキーとかを作るのは100年で広がりますけど、そういった魅力がスポーツにはあります。それもル

ールと審判とかフェアプレーといったところと一緒に広まっていった。なぜルールがあるのかというと、よりよく競争するため。ルールを越えた形で勝とうとするので、よりよく競争するために、審判にジャッジを委ねる。しかし、審判も人間なので見てなかったり、ミスしたりすることもあるため、審判を見る審判も付けて、審判を育てる。そういうのがあって競争するのがよりよくお互いを高めあう。相手がいないと勝てないから相手を尊重するし、負けても立派な態度を取ろうとする。これは資本主義ですね。資本主義の精神。資本主義というのは金持ち、貧乏ではなくてお互いを競争させて競争するところから社会を良くしていこう。負けたから敗残者扱いするのではなく、そこもちゃんと救う。もともと審判がいてルールがあるからフェアプレーができる。イギリス人とかヨーロッパの人たちはこういう発想でスポーツに取り組んでいる。その中でラグビーは独特な精神性というのを持っていて、歴史文化の中で伝わっていたものにとっても美德を見出しています。赤字で書いているが、日本語にしても終生の友情とか激しい格闘の中で人生を楽しむゲーム、スポーツマンシップフェアプレー、道徳的な振る舞い、こういった詩でも書いているようなラグビー憲章というものを作っています。スポーツには言葉というものでそれを裏付ける精神性といったものを訴えるんですけど、ラグビーのハートに訴えるものがあって、釜石がラグビーの町でよかったと思うのは、こういうラグビーのお陰でここに携われる、一緒にできるんだらうなっていう感覚があります。もちろん小笠原満男さんのことは大好きで、ワールドカップを絶対やるべきだといっていち早く応援に来てくれていろんなことをやってくれているので、サッカーの選手がどうこうということではないんですがラグビーがここにあってラグビーとともにまた釜石が歩んでいくことで、別の歴史だったり、魚のことだったり、釜石が置かれたポジション、震災の復興に取り組んでいるところも全てラグビーを通じて伝えていける、生かしていける、バトンを渡していけるんじゃないかなと思っています。みんながラグビーをする必要は無いんですけどラグビーというスポーツに対して理解をして愛するというのが一つの地域の特性、特徴になっていれば、メリットが出てきます。


ワールドカップを通じた地域貢献

我々はそういったところで、釜石でも未来の可能性を追求していきたいと思っています。もちろんジョパークもありますし、いろんな部分でいろんな可能性はありますが、これから人口が増えるわけではないので、これはどこの地域でもそうだと思いますので、釜石好きな人をそとで増やす、できれば世界中で増やしていきたいと、釜石好きの人、3分の1釜石や25%釜石の人を増やしていくことによって、釜石の人口プラスアルファのところで生み出せる。それをラグビーを通じていろんなことを起こそうというふうなことに今取り組んでいるところです。

私に取り組んでいることが例えば同じ様なことをしている若い人たちが繋げて行ってくれるのか、それとも子どもの世代なのか、あるいは一時廃れてまたラグビー盛り返そうと思うのかそこはまだ分からないんですけどせつかく生かしてもらった町なので、この町とラグビーにラグビーワールドカップが2019年にやることを通じて何かしらの貢献ができればと思っているしだいです。

スポーツ推進委員の皆さまにはワールドカップが東北に来るということっていうのも、世界三大ビッグゲーム、三大大会と言われる一つが来るっていうこともなかなか珍しいことだと思いますので、ぜひ何らかの形で携わっていただければと思います。これからも地域のスポーツをよろしく願いいたします。

本日は以上でございます。ありがとうございました。





三陸の大地に光輝く 希望と笑顔があるまち

釜石市
KAMASHI CITY

2017.7.7

ラグビーワールドカップ2019釜石開催に向けて
ラグビーのまち・釜石の挑戦
～スポーツの力で地域を元気に～

釜石市は、岩手県の南東部、三陸復興国立公園の中心に位置し、88%が山地の北太平洋をのぞむリアス式海岸の港町、自然に恵まれた魚の街、近代製鉄発祥の鉄の街、そしてラグビーの街です。

1980年代の10万人近い人口が、産業構造の転換等により減少。さらに、東日本大震災の影響などもあり減少傾向が続いています。

オープンシティ戦略による未来の希望を創るまちづくりを推進し、ラグビーワールドカップ2019開催を通じて「スポーツの力」による地域の創生に挑み、復興を達成し、世界中の支援に感謝を表明します。

人口36,254人(0～14歳10%、15～64歳53%、65歳～37%)、16,842世帯、面積441.4km[㎡]
 (H29.1現在 比較 横浜市 人口370万人、面積438km[㎡])

釜石の連帯意識はラグビースピリットの賜物 ～ 選手への懐旧支援、全世界からの支援 ～

ラグビーのまち釜石の伝統 ～ "Kamaishi is a fantastic rugby town." by Eddie Jones. ～

防災を象徴する場所 ～小中学校生徒600人が一緒に駆けて逃げたシンボリックな場所～

Oct. 2007 March 11th, 2011






- ・釜石市では児童生徒約3,000人が、臨機応変に避難して助かった。
- ・震災時点の小中学生の死亡は5人（釜石市内の死亡者888人、行方不明者152人）
- ・手に手をとって逃げて助かった鶴住川・釜石東中の生徒たちを含めて、子どもたちの率先避難行動は、世界中に広く紹介された。






復興道路整備により飛躍的にアクセス向上 ～2018年完成～

Miyazaki-Morioka Odan Road (Miyazaki - Morioka) 100km
(新規格R648km)

Tohoku Odan Expressway Kamaishi-Akita Route (Kamaishi - Hanamaki) 90km
(新規格177km)

Tohoku Chuo Expressway (Soma - Fukushima) 45km
(New section 115km)

Sann'oh Coastal Road 339km
Expressway Sann'oh Coastal Road 339km
Sann'oh Coastal Road 339km
New section 140km

KAMAISHI SENDAI 128min

HANAMAKI 59min
MORIOKA 77min
HACHINOHE 156min

Reconstruction Road/Reconstruction Support Road
Total length 584km
New section 224km

JR山田線の復旧計画開始
～三陸鉄道で南北縦貫～

ラグビーワールドカップ2019釜石開催について

【ラグビーワールドカップ（RWC）2019開催概要】

4年に一度のラグビー世界一決定戦。ラグビーを真のグローバルスポーツへというビジョンのもと、英国やニュージーランドといったラグビー伝統国の枠を飛び出し、史上初のアジア開催となる画期的な大会。

① 主催：ワールドラグビー(WR)、開催業務委託先：ラグビーワールドカップリミテッド(RWCL)

開催協会：公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、専門運営機関：RWC2019組織委員会

② 開催時期：2019（平成31）年9月20日(金)～11月2日(土)（約7週間）

③ 参加チーム：20チーム（国・地域）

④ 試合形式（全48試合）

① 予選プール（40試合）：9月20日(金)～10月12日(土) 5チーム×4プール（総当たり戦）

② 決勝トーナメント(8試合)：10月19日(土)～11月2日(土) 準々決勝、準決勝、3位決定戦、決勝

* 5月10日(水)プール組み合わせ決定、9月 全試合日程確定、平成30年1月チケット先行販売

	プールA	プールB	プールC	プールD
¹	アイルランド(4)	ニュージーランド(1)	イングランド(2)	オーストラリア(3)
²	スコットランド(5)	南アフリカ(7)	フランス(6)	ウェールズ(8)
³	日本(11)	イタリア(15)	アルゼンチン(9)	ジョージア(12)
⁴	ヨーロッパ地区1	アフリカ地区1	アメリカ地区1	オセアニア地区1
⁵	ヨーロッパ・オセアニアプレーオフ	敗者復活最終予選	オセアニア地区2	アメリカ地区2

・ **ラグビーワールドカップ2019釜石開催について**

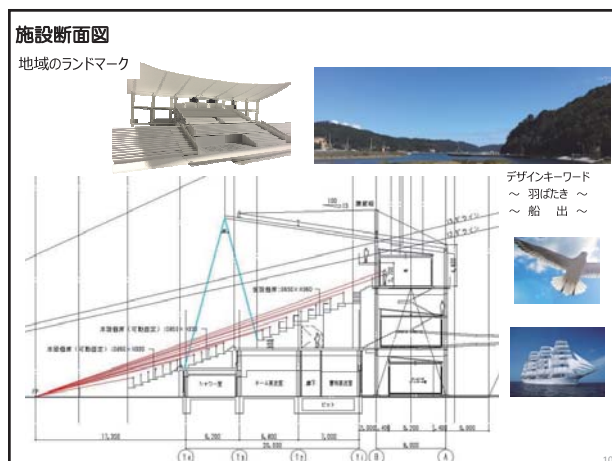
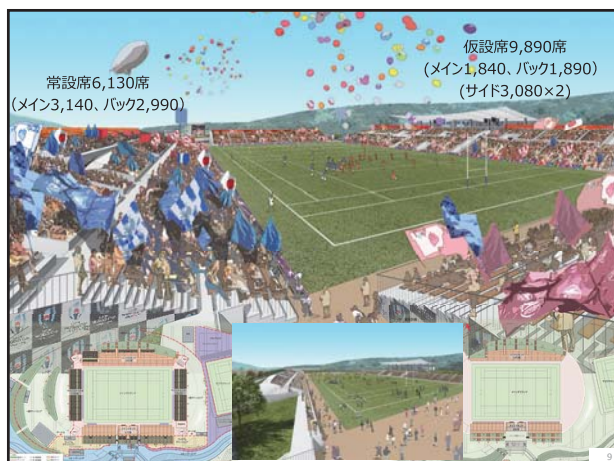
- (5)試合会場：全国12会場/19開催自治体（釜石市では予選プール2～3試合開催予定）
- (6)経済効果：約2,330億円（日本政策投資銀行）～約4,200億円（EY総合研究所）※訪日外国人約40万人（RWC2015 経済効果：約22億ポンド(4,000億円)、訪英外国人数 約46万人 RWC史上高）釜石開催経済効果 約83.2億円（岩手経済研究所）～約100億円（日本政策投資銀行）見込み

■ **開催都市・試合会場**

開催都市・試合会場

- 新潟県・新潟市
新潟スタジアム
- 東京都・豊田市
豊田スタジアム
- 大阪府・東大阪市
東大阪市花園ラグビー場
- 神奈川県
神奈川県総合体育競技場
- 福岡県・福岡市
九州電力ドーム福岡
- 熊本県・熊本市
熊本県総合運動公園陸上競技場
- 大分県
大分県立総合体育競技場
- 静岡県
静岡県総合運動場エコパ（スタジアム）
- 神奈川県
横浜国際総合競技場
- 東京都
東京スタジアム
- 埼玉県・熊谷市
熊谷市総合体育競技場
- 岩手県・釜石市
釜石総合運動場スタジアム（新築）
- 札幌市
札幌ドーム

開催期間：2019年9月20日～11月2日
開 催 場：9月20日（東京スタジアム）
決 着：11月2日（横浜国際総合競技場）



鶴住居運動公園・釜石鶴住居復興スタジアム（仮称） 整備スケジュールと費用

	2015(H27)年度	2016(H28)年度	2017年度(H29)年度	2018(H30)年度	2019(H31)年度
工程	基本設計	実施設計	仮設工事	メインスタンド工事	諸設備
行事日程		ブル地調査(5月) ・3年前	◇試合日程発表(10月) ・2年前	◇テストイベント(9月～) ・1年前	◇テストイベント(9月～) ・100日前
岩手県			開催準備委員会 開催実行委員会 (H29.4～)		
釜石市				開催地組織委員会(LOC)(H30.4～)	

(単位：億円)

項目	内容	区分	概算事業費 (a)	(a)のうち 過疎債充当額	(a)のうち 一般財源負担額
基盤整備費	造成、場内整備 耐震性貯水罐、貯留槽等	復興交	16.5	—	0.0
スタジアム整備費	サブグラウンド	社総交	0.3	0.15	0.0
	メインスタンド、諸室	JSC	9.1	2.3	0.7
	バックスタンド、メイングラウンド	単独分	4.8	4.8	1.5
仮設施設整備費	仮設スタンド、トイレ、プレハブ 照明装置、大型映像装置等	市・県	5.0	—	5.0
基本設計費		市	0.3	—	0.3
合計			39.0	8.8	8.0

仮設施設については組織委員会と調整中。

ラグビーワールドカップ2019釜石開催気運醸成事業

～RWC2019釜石開催支援連絡会を
組織して下記の事業を実施～

○プロモーション活動
 ・ラグビーフォーラムの開催
 （3/19釜石PIT 150名参加）
 ・リッチー・マコウチャリティーフォーラムの開催
 （5/27釜石東中、鶴住居小⇒
 スタジアム建設現場 約200名参加）
 ※上記は活動の一部です。

○パブリックビューイング
 ・日本代表戦及び
 釜石シーウェイブスRFCの対戦中継を放映

○常設及び出張ラグビーカフェ
 ・シーブラザ釜石内のラグビーカフェ運営や
 出張ラグビーカフェによる各種情報発信

○はまゆり会、スクラム釜石ほか支援団体との
連携事業
 ・各団体と連携しての全国的な
 情報発信事業を実施
 ・7.11東京ドーム「ラグビー釜石デー」
 ○ファンゾーン 9.30～10.1大町FP1

市民の応援と地域への根付き

＜RWCTタウンミーティングの開催＞
 2012年8月1日(金) シーナプラザ館(イベントテント)
 ゲスト・甲斐屋三右衛門 参加約70名

2013年1月11日(金) UR都市機構・駒住区事務所
 ゲスト・小笠原康夫、石山成紀 参加約100名

2013年3月30日(土) 市庁サウナ・白石
 ゲスト・千代美英子、高橋博行ほか 参加約70名

＜市内商店会でフラッグの贈呈＞2012年
 中東中央通り、上中島、鈴子町
 と東通商店会大学校へ
 駒住高橋役商店街と立教大学ラグビー部
 青葉東商店街、
 大塚町役商店街
 と駒住教住会本社
 ラビー部
 駒住地区区画通い
 駒住市街地金庫

2012・5・10

2012・8・1

2013・1・11

2013・3・30

2013・5・12

2013・6・4

2013・7・12

2013・8・1

2013・9・5

2013・10・5

2013・11・11

2013・12・12

2014・1・18

2014・2・7

2014・3・16

2014・4・13

2014・5・18

2014・6・15

2014・7・13

2014・8・10

2014・9・7

2014・10・5

2014・11・3

2014・12・1

2015・1・1

2015・2・1

2015・3・1

2015・4・1

2015・5・1

2015・6・1

2015・7・1

2015・8・1

2015・9・1

2015・10・1

2015・11・1

2015・12・1

＜RWCT紹介液晶看板＞
 2013年12月12日(土) シーナプラザ、ホテルサンルート・室石、2013年2月6日(水)大手銀行、のぞみ病院
 ＜小学生・小生のRWCT施設アテ配布＞(マスコットストラップ・クリアファイル・ブックレット) 2013年2月
 ＜ラグビー・カフェ・フレンドシップ会＞2013年9月オープン RWCT紹介、英語教室、手芸教室、ハロウィン、Xmas子どもイベント
 ＜SWS公式観戦イベント＞2013年10月5日
 ＜2018cm(ローカル・マーケティング)＞2014年1月18日の味覚祭り

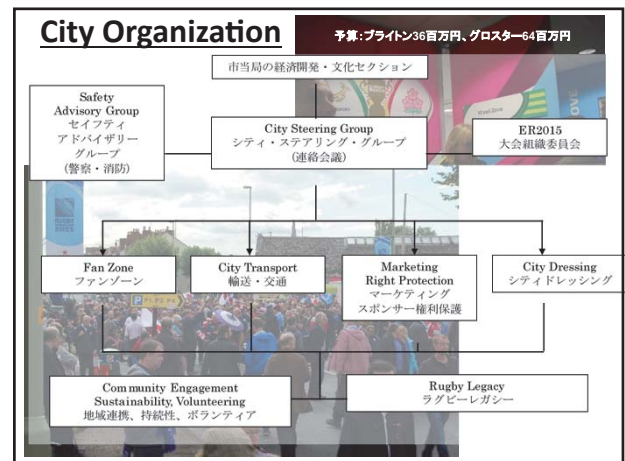
RWC2015公式視察報告					
9月18日-10月31日 <視察期間：2015年9月17日～25日> <視察都市：ブライトン、グロスター>					
■RWC2015公式視察【5開催都市】20名 参加者リスト					
氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
1 岩手 岩手県	小田 豊	MR	政経推進部	主査	
2 石川 石川県	川崎 文雄	MR	ラグビーワールドカップ推進室	係長	
3 増田 久士	MR			部長補佐	
4 埼玉 埼玉県	西村 美	MR	スポーツ振興課	スポーツ企画課	
5 原田 原田県	中田 幸典	MR	スポーツ振興課	企画推進主査	
6 茨城 茨城県	藤井 聖晃	MR	ラグビーワールドカップ準備室	総務室長	
7 大阪 大阪府	飯井 幸史	MR	花壇ラグビーワールドカップ2019推進室	総務主幹	
8 大阪 大阪府	磯山 龍紀	MR		主任	
9 福岡 福岡県	福岡 洋一郎	MR	県民文化スポーツ課	主事	
10 福岡 福岡県	中島 賢一	MR	スポーツ事業課		
11 福岡 福岡県工芸会館	松岡 弘一	MR	企画総務グループ	運営役	
12 熊本 熊本県	後藤 徳大郎	MR	熊本県国際スポーツ大会推進局	主幹	
13 熊本 熊本県	藤原 隆典	MR	体育保健課スポーツ振興係	指導主事	
14 熊本 熊本県	宮村 良彦	MR	スポーツ振興課	助事	
15 熊本 PMC	三原 三恵	MR			
16 熊本 PMC	菅原 心太	MR	建設コンサルタント		
17 事業部	中村 恵	MR			
18 RWCL	Jessica Kenny	MS			
19 RWCL	George Blake	MR			
20 通訳	グリーン 裕美	MS			

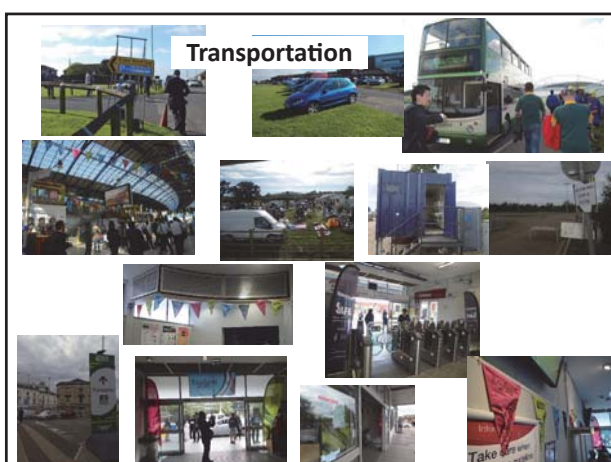
Location

1. **ファルマススタジアム** (ブライトン/観客人数: 20,750)
2. **スタッドススタジアム** (マンチエスター/47,800)
3. **エランドロード** (リーズ/25,704)
4. **キングズホルムスタジアム** (グロスター/16,115)
5. **キングパワースタジアム** (レスター/32,312)
6. **ミレナムスタジアム** (カーディフ/ウェールズ/74,154)
7. **オリンピックスタジアム** (ロンドン/54,000)
8. **サンダーパーク** (エクセター/12,500)
9. **スタジアム mk** (エルドンシャー/30,717)
10. **セパタクローパーク** (ニューカッスル/25,209)
11. **トウィッケンハムスタジアム** (ロンドン/81,605)
12. **デラパーク** (バーミンガム/観客人数: 42,785)
13. **ウェンブリースタジアム** (ロンドン/90,256)
14. **ウェンブリースタジアム** (ロンドン/90,256)
15. **ウェンブリースタジアム** (ロンドン/90,256)

Schedule									
RWCV15大会開催日程【開催期間09/17：9:17/木 - 9/25/金】 2016									
日程	時間	会場	対戦相手	試合	試合結果	試合の状況	補足事項		
第17 木	11:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	14:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	15:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	16:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	17:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	18:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	19:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	20:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	21:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	22:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
第18 金	11:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	14:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	15:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	16:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	17:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	18:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	19:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	20:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	21:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				
	22:30	東京	日本代表	USA	対戦相手はアメリカ代表と対戦する				

Schedule							
日程	都市	時間	内容	会場	公演時間	備考	販売ホテル
9/21	ロス	08:30	朝食・自由席	Dear Harry Restaurant	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	バス・バスケットコート	•	•	
		10:00	バスケットコート	Congress Suite	•	•	
		11:30	バスケットコート	Dear Harry Restaurant	•	•	
		12:00	バスケットコート	(Ground Floor)	•	•	
		13:30	バスケットコート		•	•	
		15:30	バスケットコート		•	•	
		16:00	バスケットコート(バス・バスケットコート)		•	•	
		17:00	バスケットコート	Harry's College	•	•	
		17:30	バスケットコート(バス・バスケットコート)		•	•	
9/22	ロス	08:30	朝食・自由席	Dear Harry Restaurant	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	バス・バスケットコート	•	•	
		10:00	バスケットコート	TD	•	•	
		11:30	バスケットコート		•	•	
		12:00	バスケットコート		•	•	
		13:30	バスケットコート		•	•	
		15:30	バスケットコート	Dear Harry Restaurant	•	•	
		16:00	バスケットコート(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		17:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		17:30	バスケットコート		•	•	
9/23	ロス	08:30	朝食・自由席	Dear Harry Restaurant	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	バス・バスケットコート	•	•	
		10:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		11:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		12:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		13:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		15:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		16:00	バスケットコート(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		17:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		17:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
9/24	ロス	08:30	朝食・自由席	Dear Harry Restaurant	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		09:00	1階観覧席(バス・バスケットコート)	バス・バスケットコート	•	•	
		10:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		11:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		12:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		13:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		15:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		16:00	バスケットコート(バス・バスケットコート)	(Ground Floor)	•	•	
		17:00	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	
		17:30	バスケットコート	バス・バスケットコート	•	•	





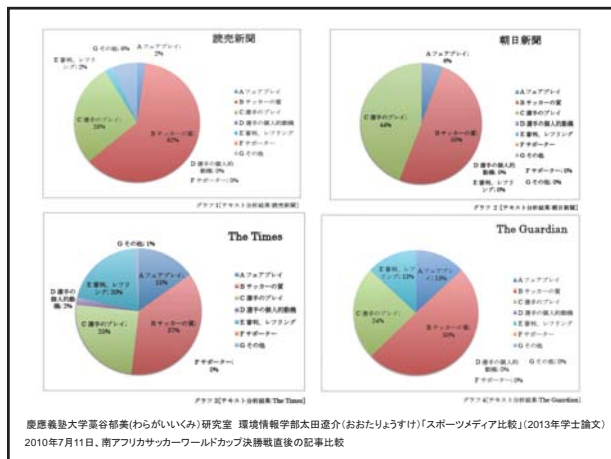
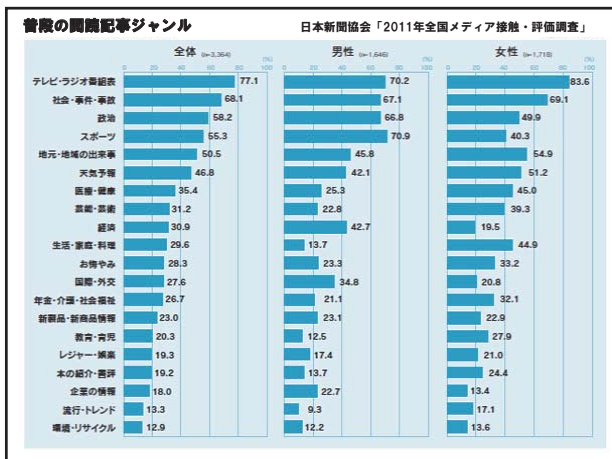


1月のスポーツ面のスペース推移(数字はページ数)

	朝	日	夕	刊	合計	1日平均	元旦発表
1986年	44	—	—	—	44	1-5	—
1987年	41	—	—	—	41	1-4	—
1988年	44	—	—	—	44	1-5	12
1989年	46	—	—	—	46	1-5	—
1990年	53	—	—	—	53	1-8	—
1991年	66	—	—	—	66	2-2	—
1992年	59	—	—	—	59	2-0	—
1993年	58	—	—	—	58	2-0	8
1994年	59	—	—	—	59	2-0	—
1995年	59	4	—	—	63	2-1	—
1996年	60	—	—	—	60	2-0	8
1997年	64	4	—	—	68	2-3	8
1998年	74	8	—	—	82	2-7	20
1999年	72	3	—	—	76	2-5	—
2000年	74	2	—	—	76	2-5	8
2001年	85	20	—	—	105	3-5	12
2002年	89	21	—	—	110	3-7	12
2003年	86	22	—	—	108	3-6	8
2004年	78	23	—	—	101	3-4	12
2005年	81	22	—	—	104	3-5	—
2006年	91	26	—	—	117	3-9	12

(注)朝日新聞東京本社発行最終版

近一斉輝一(さこんじゅうてりあ)「スポーツ報道と新聞広告の新しい関係」(2007年、帝京大学経済学研究)



スポーツは競争

「カルチョ・ストリコ」フットボールの起源



～ 1530年 神聖ローマ帝国カール五世(カルロス一世 1500年～1558年)から包囲された時、フィレンティノを鼓舞するカルチョが行われた。
～ 1700年 メディチ家の衰退とともに終焉を迎える。市民の娯楽はベロカ(今のスカッシュ)に移る。

イングランド発祥のラグビーフットボール

1790 — 1800 — 1810 — 1820 — 1830 — 1840 — 1850 — 1860 — 1870

ルイ16世処刑 93	ワシントンC 00	ナポレオン皇帝 04	フルトン蒸気船 07	英・奴隷制廃止 14	英・奴隷制廃止 23	ナポレオン敗戦 27	仏7月革命 30	英工場法制定 37	ヴィクトリア女王 42	アヘン戦争 48	仏2月革命 48	ロンドン博覧会 51	クリミア戦争 53	南北戦争 61	英選挙法改正 67	英初等教育法 70	普仏戦争 70
96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96

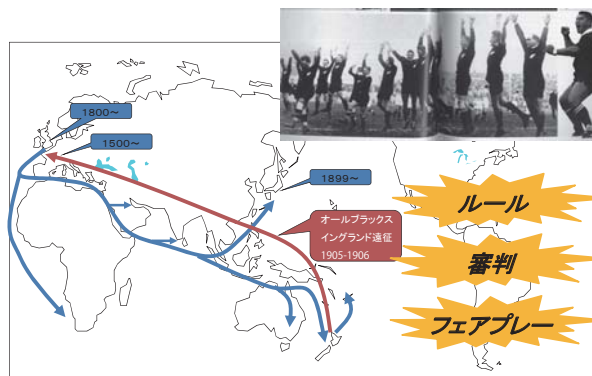


ルール

審判

フェアプレー

世界に伝播したラグビーフットボール



ルール

審判

フェアプレー

ルール

よりよく競争するために、
自分たちでルールを決める。
⇒互いにルールを超える
⇒ルールを変更しよう

審判

よりよく競争するために、
審判にジャッジを委ねる。
⇒人はミスるのが当たり前
⇒審判を審判しよう

競争礼賛

フェアプレー

よりよく競争するために、正々堂々戦う。
相手に勝つことが一番⇒でも、相手がいないと勝てない⇒負けた相手も尊重しよう

"Rugby Charter Conclusion"

Rugby is valued as a sport for men and women, boys and girls. It builds teamwork, understanding, co-operation and respect for fellow athletes. Its cornerstones are, as they always have been, the pleasure of participating; the courage and skill which the game demands; the love of a team sport that enriches the lives of all involved; and the lifelong friendships forged through a shared interest in the game.

It is because of, not despite, Rugby's intensely physical and athletic characteristics that such great camaraderie exists before and after matches. The long standing tradition of players from competing teams enjoying each others company away from the pitch and in a social context, remains at the very core of the game.

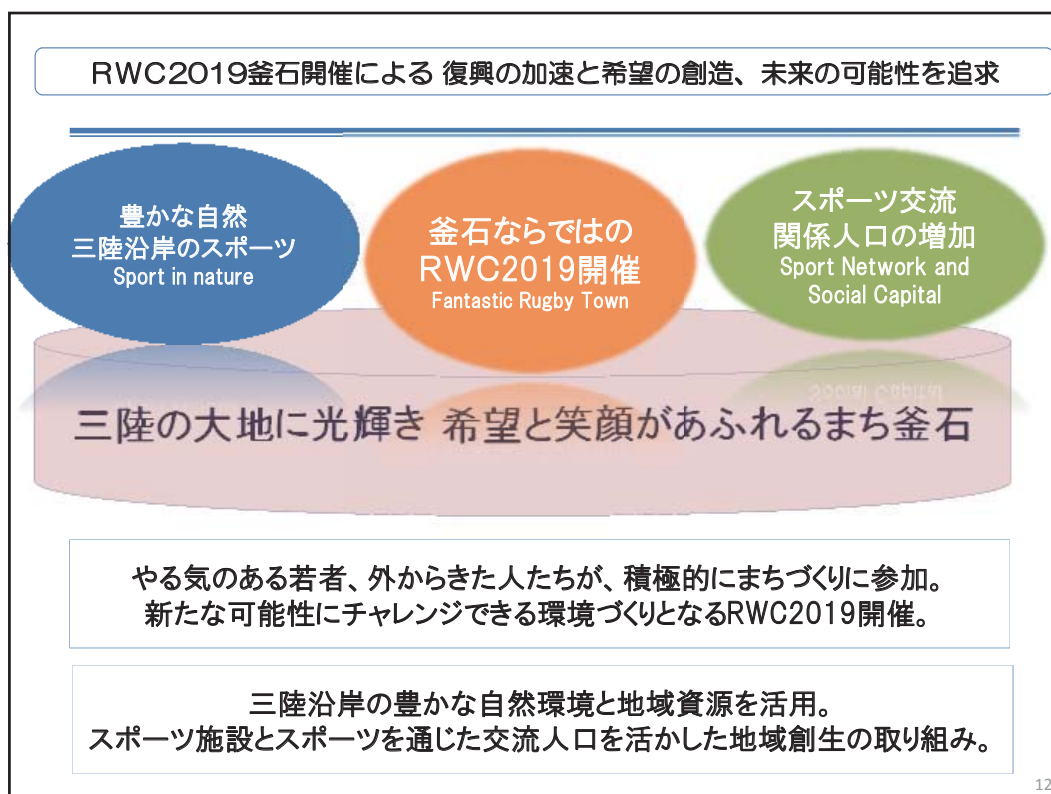
Rugby has fully embraced the professional era, but has retained the ethos and traditions of the recreational game. In an age in which many traditional sporting qualities are being diluted or even challenged, Rugby is rightly proud of its ability to retain high standards of sportsmanship, ethical behavior and fair play. It is hoped that this Charter will help reinforce those cherished values.

ラグビー憲章 結語

ラグビーは男性・女性、少年・少女のためのスポーツとして、チームワークや仲間への理解、協力、尊敬を築く。ラグビーにとって、初めからずっと基礎になっていることは、参加する楽しさ、ゲームでの勇気と技術、携わるすべての人の人生を豊かにするチームスポーツへの愛着、ゲームを通して深まる終生の友情、である。

ラグビーが楽しい格闘なので、ゲームの前にも後にも深い友情がある。チーム同士の選手たちがフィールドを離れたあとで、社会生活のなかでもずっと仲間であることは、長く続くラグビー選手たちの伝統であり、それがゲームの要であることは変わらない。ラグビーは、プロであってもそうであるが、自らの人生を楽しむゲームという伝統と精神を保っている。多くの伝統的スポーツの性質が失われるか、あるいはその性質が疑われている時代に、ラグビーは、スポーツマンシップの高い水準、道徳的なふるまい、フェアプレーを保つことの可能性を誇るにふさわしいものである。

この憲章が、これらラグビーの賛美するべき価値を再認する一助となることを希望する。



講演Ⅱ

演 題：第２期スポーツ基本計画スタート
～もっと「スポーツの価値」を伝えよう～

《スポーツ対談》

講 師：登壇者① 岡崎 朋美 氏
(長野オリンピックスピードスケート銅メダリスト)

登壇者② 澁谷 茂樹 氏
(笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所主席研究員)



岡崎 朋美 氏（おかざき ともみ）

長野オリンピック
スピードスケート 女子500m 銅メダリスト

北海道出身。10歳からスケートを始める。

1994年～2010年 リレハンメル五輪から、バンクーバー五輪まで冬季五輪に5大会連続出場。

1998年 長野五輪スピードスケート女子500mで日本女子短距離界初の表彰台となる銅メダルを獲得。

2006年 トリノ五輪では日本選手団主将。

2010年 バンクーバー五輪では日本選手団旗手を務める。

2013年 現役引退。テレビ出演、講演会、スケート教室での指導等多数。

被災地を含む岩手県にも多数来県。



澁谷 茂樹 氏（しぶや しげき）

笹川スポーツ財団
スポーツ政策研究所主席研究員

1997年 東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系修士課程修了。

1998年 同博士課程中退。

1998年～笹川スポーツ財団で「スポーツ白書」、「スポーツライフ・データ」、「諸外国のスポーツ振興政策についての調査研究」など、各種調査や刊行物の編集に携わる。

2011年 10月より現職。

【スポーツ歴】

中学時代：剣道部で埼玉県大会団体戦出場

就職後：東京オープンボディビル選手権大会 60kg級 4位

埼玉県ベンチプレス選手権大会ノーギアの部67.5kg級 3位など。

演題：スポーツ対談

(1)「第2期スポーツ基本計画スタート ～もっと『スポーツの価値』を伝えよう」

澁谷 茂樹 氏



澁谷さん：皆さんこんにちは。ご紹介いただきました、笹川スポーツ財団の澁谷です。

東北ブロック研修会には、2年前、秋田県鹿角市で開かれた研修会でもお話をさせていただく機会を頂戴して、東北ブロックは2回目となります。今回は第2次スポーツ基本計画の紹介をメインに話題提供させていただきたいと思います。ちょっと文字だらけのスライドで眠気を

誘うかと思いますが、今少しお付き合いください。投影しているスライドは皆さまにお配りした配布資料の中に入っておりますので、文字見づらいところなどあわせてご覧いただければと思います。第2スポーツ基本計画をお話しする前に、このスポーツ基本計画、インターネットのホームページ等でも紹介されていますが、ちょっとでも見たことがあるという方、恐縮ですがちょっと挙手をお願いできますでしょうか。スポーツ基本計画ちょっと呼んでみたよという方は？

・・・挙手・・・ありがとうございます。ざっくりいうと15%くらいですかね。もうちょっといるかな。

スポーツ基本計画

国の計画なんて私達の活動に関係ないんじゃないかというふうに思っている方も多いかと思いますが、決してそうではないということをこの話を通じて持ち帰っていただきたいなと思います。計画ってなんなのと言う話ですが、国がスポーツの政策に限らず、

いろんな政策に関係する計画、こういうことやりますよって言う5ヵ年10ヵ年の計画を決めていく根拠と言うものがございます。スポーツ基本計画についてはスポーツ基本法第9条に計画を定めなければならないと書かれています。それに基づきまして最初にできたスポーツ基本計画は2012年に第1期の計画ができました。

第2期スポーツ基本計画

つい今年の3月に第2期のスポーツ基本計画が策定されまして、2017年度、今年度から5年間、この期間中に国が総合的にかつ計画的に取り組む施策を明記されている計画です。計画の概要はコンパクトにまとめられたスポーツ庁の資料でして、ぜひお手元にプリントアウトしてお持ちいただければいいなと思います。ここで細かな説明は省きますが、計画の文書は数10ページに渡るもので、なかなか読むのは骨の折れるところがありますが、この1枚に計画がどういうものかまとめられていますので、ぜひスポーツ基本計画ということでホームページで検索していただいて、この資料をお手元にご用意いただければいいかなと思います。

計画の特徴等をかいつまんでご説明します。このスポーツ基本計画は非常に分かりやすい行政計画なっています。一般的に国の計画は、先ほど骨が折れるとお話しましたが、なかなか一般の人、政策に直接かわりのない人が読むにはちょっと重たい部分がありますが、この第2期スポーツ基

本計画についてはスポーツ省が2015年にできまして、鈴木大地長官がスポーツ庁長官になられまして、この計画を作るにあたって読んでもらいやすい、分かりやすい計画にしようとおっしゃって、それを反映した形でかなり読みやすい計画になっています。

4つの基本方針

4つの基本方針がありまして、ここに書いてある通り、「スポーツで人生が変わる」、「社会を変える」、「世界とつながる」、「未来を作る」という4つの柱を示しています。もう1つの特徴ですが「スポーツの価値」という言葉が度々出てきます。まさにスポーツの価値を広めていくということがこの計画の中核に位置づけられています。数えてみたところ計画の本文の中で18個入っていました。一部紹介したい箇所があります。計画の第4章施策の総合的ほにゃららというところです。鍵括弧以下がそのまま文章をコピーしたのですが、第2章のほにゃらら4つの観点からなるスポーツの価値について、国民・スポーツ団体・民間事業者・地方公共団体等に普及啓発していくことが重要である。つまりスポーツは価値があるものなんだよ、今まで以上に広めていく必要がある、と計画に書かれています。

4つの大きな目標

次に計画に書かれた政策の大きな目標が4つありまして、それをご紹介します。1つ目成人のスポーツ実施率を週1回以上の実施率を65%程度、国民の成人の3人に2人くらい、障害がある人たちでは40%程度、週3回以上を30%程度にしようという目標を掲げています。ちなみに今、最新のスポーツ庁の調査ですと週1回以上の成人のスポーツ実施率は42%程度ということなので1.5倍程度上積みが必要だという計画です。中にはそんなことできるわけないという人もいるかと思いますが、この計画はあえて難しい目標を設定して、それに一致協力して皆で挑戦していこうということを唱っているところがありますので、達成しやすい目標ではなくてあえてチャレンジするような目標を掲げているというところで理解していただきたいと思います。

2つ目のこれも非常に重要な内容になりますが、社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組むというのが書かれています。4つの政策目標のうちの上からの2つですが、この2つに関しては皆さまスポーツ推進の方々が直接関わっている現場の中で実現していけるような内容ではないか、皆様に非常に関わりが深い目標ではないかと私は考えています。

3つ目、4つ目に関しては国際競技大会での活躍とかそういった項目ですので後ほどご覧いただければということで割愛いたします。

スポーツ推進委員

次に第2期スポーツ基本計画の中でスポーツ推進委員とはどのように書かれているのかというところで見るとスポーツ推進委員について具体的に明記されているのは、一箇所でした。どちらかと言うと少ないように思います。どんなところに書かれているかというそのままタイトルとか抜粋しているので、この(2)ですね、スポーツ推進委員等ということで書かれている文章でそのまま引用しているのですが、国は地方公共団体が委嘱するスポーツ推進委員について、総合型クラブや地域のスポーツ団体等との連携協同を促進することができる優れた人材の選考と研修の充実を支援することにより、地域スポーツの振興を支える人材の資質向上を図ると言うようなことが書かれています。1期前のスポーツ基本計画では推進委員はどのように記載されていたかを見ますと、3箇所に記載がありました。細かな内容についてはこのように記載されていたのかと後ほど見てい

ただければと思いますので、あえて説明は致しませんが、そんな状況にあります。単純に計画が同じよう形で作られていないので前のが3個で今回ののが1個だからスポーツ推進委員が大事に扱われていないんじゃないかと思う必要は必ずしもありませんが、ただ地域スポーツの生涯スポーツの振興を担う重要な役割のスポーツ推進委員に関してはもう少し計画の中に出てきてもいいんじゃないかと皆さんに思っていていただく必要はあるのかなと思います。

地方スポーツ推進計画

冒頭もお話しましたが、国の計画と僕らの活動ってどんな関わりがあるんだろうかというところの話のなかで、関わりあるよねっていう根拠につながるお話をしますと、地方スポーツ推進計画というものがございます。国が作る計画を参考にしながら、都道府県や市区町村が作る計画のことなんです。同じくスポーツ基本法の第10条に書かれている。国が作った計画を参酌してその地方の実情に即した計画を定めるよう努めるものとする。つまりは国の計画を参考にして都道府県や市区町村で計画が立てられると、そうなりますと県や市区町村の計画の中でスポーツ推進委員がどう位置づけられるかということに国の計画がすごく関わってくる。ある意味皆さんの現場の活動にすごく計画がつながりあるということがご理解いただけるかと思います。

国の計画も紹介しましたが、都道府県や市区町村も計画を立てているのですが、全国の市区町村の3割が地方スポーツ推進計画を策定しています。人口規模が大きい自治体では必ずしも計画を策定しないで進めているところもありますが、そのような状況。都道府県では殆どが計画を策定しております。東北ブロックで県と市を1つずつピックアップして、推進委員のことをどう書かれているのかというのを見てみました。県の計画については、スポーツ立県秋田推進プランを紹介します。こちらが2014年に立てられまして、今年度までですね。おそらく今改訂中かと思いますが、秋田のプランに関してはスポーツ推進委員の記載が非常に多い。9ページに渡って25個スポーツ推進委員という言葉が出てきました。どんなところが書かれているかというと、施策例と言うのがありますが、例えば書かれていたところの中で白丸の2つ目、体力テストスポーツ実態調査を各市町村のスポーツ推進委員と連携して実施というものがありました。秋田県内の体力テストですとか秋田県のスポーツ実施率の調査を県の依頼を受けて秋田県のスポーツ推進委員を通じて各市町村の現場の方々がアンケート調査をしてらっしゃるという状況です。対照的な例ということでこの会場にもなっております北上市のスポーツ推進計画については、2016年、去年作成されるんですが、残念ながら推進委員の記載については役員にスポーツ推進委員がいたので委員名簿に記載されている他には一箇所だけスポーツ推進委員はこういう役割ですよというのが書かれているのに留まりました。

こうやって見ると自治体によって計画の中でスポーツ推進委員がどういうふうに書かれているのかというのもまちまちだと言うことが分かります。今年の3月に第2期の基本計画というものが作られまして、これから国の計画を参考に都道府県や各市区町村が新しい計画を作っていきますので、その中でスポーツ推進委員の方々について役割や期待について書かれるのか非常に注目すべきことだと思います。

皆様には現場で例えば地元の市町村でスポーツ推進審議会というところのメンバーになられて、こういう計画を作るので意見をくださいという審議会のメンバーになられる方がたくさんいらっしゃると思うんですね、その際に推進委員が「しっかり活動しているから、計画に記載してくれよ。」と言っても中々伝わらない部分もあるので、実際に自分達がしている活動について、しっかり明記してもらえるように、現場の方々と相談しながら進めていただきたいと思います。

スポーツ推進委員に求められる役割を一緒に考えよう

最後ですけども、「スポーツ推進委員に求められる役割は」と言うことでお話したように国の計画はスポーツの価値を広めていこうという状況になっています。スポーツ政策との関わりの中では、スポーツ推進委員の皆様がスポーツの価値を高める、あるいはスポーツの価値を多くの人に知ってもらうということにどういう形で貢献できるかということを意識してこういう役割があるんじゃないかというのを皆さんと一緒に考えたいと思います。

空白の4つを作りましたが、これは後半、岡崎朋美さんの講演の後、対談形式のディスカッションの中で今一度皆さんと一緒に考えたいと思います。

私からの発表は以上です。ご清聴ありがとうございました。

・・・拍手・・・

(2)「どこまでも挑戦！」



岡崎 朋美 氏

司会者：続きましてお二人目の講師を紹介いたします。お二人目は岡崎朋美さんです。

すでに皆さんご存知の講師でございます。プロフィールのご紹介をいたしますと北海道出身。10歳からスケートを始められ、1994年から2010年までのリレハンメル五輪からバンクーバー五輪まで冬季五輪5大会連続出場をなさっています。特に1998年長野五輪スピードスケート女子500mで日本女子短距離界初の表彰台となる銅メダルを獲得なさいました。2006年トリノ五輪では日本選手団の主将、2010年バンクーバー五輪では日本選手団旗手を務められました。2013年に現役を引退され、テレビ出演、講演会、

スケート教室での指導多数でございます。

昨夜の日本テレビの9時からの番組「秘密の県民ショー」でも出演なさっておりました。被災地を含むこの岩手県にも多数来県していただいています。当地北上市の白百合大使も務められています。それでは岡崎朋美様よろしくお願いいたします。

・・・拍手・・・

岡崎さん：皆さんこんにちは、ご紹介に預かりました岡崎朋美です。今ご紹介ありましたけれども突然ですが昨日のケンミンショー見た方いらっしゃいますか。・・・挙手・・・ありがとうございます。先ほど澁谷さんは15%と言ってましたが、30%くらいいますね、勝ちました。ありがとうございました。少しのお時間ですけど、私の「どこまでも挑戦！」ということで、選手時代ときも挑戦と言うことを掲げながらやってたんですけど、引退しましても人生はずっと挑戦し続けていきたいなということでこの題目を付けさせていただきました。

北海道の自然で育った子ども時代

私は田舎で育ったものですから、環境に関しては大人になってほんとに田舎で育ってよかったなと今実感しているところです。

今見たら5大会連続で出場するということはすごいことだなと思うんですけど、小さいときはオリンピックの観戦というか、テレビで見てはいたんですけど、あまり自分のこととは思っていなくて、出場したいとも思っていなかったです。思っていなかったというよりも出場できないと思っていま

した。スケートに関しても学校の授業で冬に校庭に水を撒けば凍ってしまうので、それでスケートを履いていたというくらいですし、友達と一緒に入れる、一人転校生の女の子でスポーツ万能の子が来たので、その子と一緒にいろんなことをやりたいということで始めたスケートでしたので、ここまで5大会出れることはまずなく、夏の競技に関して生まれが北海道の知床半島の付け根ですから自然しかなく、酪農家だったのでホルスタインの方だったんですけど、牛乳は毎日飲んでいました。ただその自然の中で動きたかったし、山もあったので自転車を砂利道で走っていたのでバランスを崩して倒れないように子どもながらに体幹を使って重心を使って、ドリフトをしながら自転車で駆けていくという、自然で生きていたというのがこの強靱な体を作れたのかなと思います。

そして、ここ北上の環境も素晴らしいですし、子ども達も色々活動したいと思っている子も何人かいらっしやるかと思います。このときに皆さんたちが色々なアドバイスをこうゆうこともあるよ、ああゆうこともあるよとか言っていたほうが子ども達はやる気がすごく出ると思いますし、私も田舎の方でももしかしたら違うスポーツでこういうのがあるからと言われていたら、もしかしたらスケートじゃなくて違うスポーツをやっていたかもしれないし、そこはほんとにわかりません。夏のトレーニングとか走るのが好きだったので、陸上とかもやっていたんですけど、やはり短距離走が地区で地域で一番だったんですけど段々やはり全道大会とかになってくると、いっぱい人がいらっしやるので陸上は無理だなと自分でも察してきて、冬のほうにシフトして行く、夏は陸上、冬シフトしていくっていう段階で小さいときを過ごしていました。

長野オリンピック

そしてこれは長野の映像ですけど、まだ話は早いんですけど、長野見ていた人いますかね。ほとんどいますかね、覚えていますか。もう20年前ですけど、20年経ってしまったので私だんだん忘れてきたんですけど、ありがとうございます。その節は応援ありがとうございました。少し思い出してもらって2本目の島崎京子さんと同走だった映像がまだ残っていたのでご覧ください。

・・・映像・・・

私がアウトスタートで島崎さんを追う形になります。島崎さんのお尻が見えていたのでいけると思いました。腰高です。ありがとうございます。次、カナダの選手2人が残ってしましてメダルは確定していましたが、金・銀・銅メダルでどれになるか待っている状況でした。スラップスケートが出てしまったので、一番右側のカトリアナ選手が金メダルを取りました。スラップスケートが出るまで、負けたことがなかったのですが、魔法の靴です。ここで20年前に銅メダルをいただきました。先ほどのスラップスケートはかかとか離れますが、なんとか間に合ったかなという感じです。カナダの選手は縦蹴りでブレーキをかけながら走る選手でした。パワーもあって脚力、足も長くストライドも大きかったのですが、私のほうが、テクニックが上手でした。本当にこれでひっくり返されたので、ちょっとどうなのかと思いましたが、性格が良かったので喜んであげました。私も小さいときからやっていてメダルを取れるかどうかわからなかったのですが、大人になってから橋本聖子さんと一緒に練習させて頂きました。レベルの高い人達の下で修行をさせてもらって意識がすごく変わりました。強い人の真似、体感して勉強して覚えてきたので、すごく辛くはあったのですが結果が出るので楽しいと思えて展開されていきました。

人生が変わる、社会を変える、世界と繋がる

先ほどのスポーツ計画4つありました。「人生が変わる、社会を変える、世界と繋がる、未来を作る」と先ほど言っていましたが、本当に人生何があるか分かりません。考えて、辞めるとかではなくやってみて駄目ならまた次と変えていただければ、どんどん変わっていくでしょうし、これか

ら子供・孫が居る方は、あなたは無理と決め付けずいろいろな事にチャレンジするように子ども達を盛り上げていってほしいと思います。ここでも、メダル取りまして途中でヘルニアになり手術をしました。内視鏡とかもありましたが当時2000年でしたので5cm程切りました。マスコミも岡崎終わったなと思われていましたが、私は自然児だったので、自然治癒力に自信があったので「できるでしょ」「だれもやったことがないならやりましょう」という感じで頑張ってリハビリも、スピードスケートのリハビリは腰の低さも保たなければ行けなかったので独自のリハビリをしていきました。2000年に手術して6年経ちました。体内のことなので分かりませんが完治したのではと言われました。

ここで、0.05秒の差ということに関して、1本目は3位に入っていたのでいけると思ったのですが、自分の心の迷いがありました。中国人の方が好タイムを出しました。1本目と1秒以上差があったので、そこでタイムを考えてしまって動揺しました。0.05秒の差を考えさせられました。3位で銅メダルを取っているし3位と4位の差をメディアも帰国した時の扱い方の差を自分で体感しました。長くやっているところということもあるだろうとがっかりというよりは勉強になったとこれからのマスコミ対応の仕方を変えようと思いました。それもよかったのかなと思いました。あまり同じことをしていても自分に何が降りかかってくるか分からなかったので神様が教えてくれたのかなと思いました。

結婚、出産との両立

そして、結婚、出産。スケート選手で結婚している方は、男性はいました。男性は問題なく家庭でいれると思います。女性は結婚も出産もいませんでした。誰もいないのであればとプラス思考で「私がやりましょうか」ということでソチに挑戦しました。出産して両立しながらやりましたが、スピードスケートはパワー系なので、育児との両立をやった方がいなかったのを見本がありませんでした。4年間では時間が短かったです。後ではこれもあれもと思ったのですが、4年のなかでは難しい挑戦でしたが、今後、ママさんアスリートには助言やアドバイスはしっかりできるようになったと自分で勉強したつもりです。

社会を変えるということに関して、そこでも絶対無理と思われても、やり方次第ではチャレンジできますし、策はあると思います。託児所も増えました。女性アスリートの中にも、結婚・出産しても続けたいと思ってはいても、家庭を守ったり、色々なしがらみがあったりすると思いますが、やりたいことはやった方がいいですし、両立も絶対できると信念をもってやれば、女性は強いと思います。男性も俺はできないではなく、やってやるという気持ちで案を出して、仮にぶつかったとしても立ち向かっていくバイタリティがあってもいいのかなと思います。

夏泣かないと冬笑えない

トレーニングの様子です。冬しか滑っていないのかと思われそうですが、今はネット社会ですので、検索すれば夏何をしているか分かると思いますが、夏泣かないと冬笑えないですね。しっかりとトレーニングして体を鍛えてバランス片足で細いエッジで、アウトフラットインでテクニックもまっすぐなところを50、60km出さなければいけません。そこでカーブもありますし、それを考えると強靱な体、体力を作らなければあのようなスピードは出ません。10kgジャケットで負荷をかけたりしています。ウエイトサーキットや自転車をやっています。練習場は山梨県の富士吉田市で富士山の麓です。富士山にずっと駆け上がる坂がまっすぐあります。そこを駆け上がったり、5合目手前に火山灰を駆け上がったり、聖子さんのトレーニングを受け継いでずっと同じことをしています。標高も高いので心肺トレーニングにもなります。

皆さん分かっているかと思いますが学生の若い方も人が決めてしまうとそちらに流れてしまいます。自分でしっかり有言実行ということで責任を持ちます。言ったからやらなければいけないと自分にプレッシャーをかける、かけてもらいたいのですね。逃げるのではなくて。一応目標に掲げています。笑顔は周りの人も幸せにするので、辛いことがあっても顔に出さないようにしています。泣く時は布団に隠れて泣いたり、泣き顔を見せませんでした。自然と笑顔でいられるということが一番良いのかと思っています。

娘との未来

未来を作るということに関して、娘が小学校一年生ですが、陸上をやらせています。幼稚園の時は水泳をしていました。本人は楽しいようです。これから世界陸上も始まりますし、テレビに釘付けです。そういう自分でやりたい、楽しいと私もスポーツアスリートとして、よしよし、いいぞと思っています。色々な分野を挑戦させたいと思っていますし、冬になるとスケートを教えているので一緒にやります。ボール競技もさせたいと思っています。いろんなアドバイスが欲しいなと思っています。この後、対談となりますので私の講演はこれで終わりたいと思います。

ありがとうございました。

司会者：本当に癒される笑顔です。こちらも笑顔を大事にしたいと思います。

これより澁谷さんと岡崎さんによる対談を始めさせていただきます。席の位置はお二人でじゃんけんで決めたようです。勝った方がどちらかは分かりませんが・・・

それではお願いいたします。

(3) スポーツ対談

澁谷さん：残りの時間で「スポーツの価値」というキーワードを元にいろいろ岡崎さんからお話を聞きたいと思います。その前に皆さんがどういうバックグラウンドなのか、皆さんスポーツ推進委員であることは共通ですが、1人何役も地域で活躍されていますので、実際のスポーツ推進委員の活動以外でどれだけスポーツに関わっているか私達知りたいと思ってこのようなスライドを用意しました。①～④あります。挙手でご協力いただきたいです。推進委員の活動としても、それに付随、それ以外の活動も含めて、ニュースポーツ、レクリエーション種目を日常的に指導している方は挙手願います。「日常的に」の意味合いは月1程度指導されている方。

…会場挙手…

澁谷さん：ありがとうございます。2割くらいですね。続いて、主に子供対象になるかと思いますが、オリンピック競技、武道、市町村の体育協会に加盟している競技について、このような種目を日常的に指導されている方、挙手願います。

…会場挙手…

澁谷さん：ありがとうございます。結構多いですね。次、最近スポーツ基本法の施行以来注目されるようになっている障害のある方との関わりで、障害のある方に運動スポーツを日常的に指導されている方挙手願います。

…会場挙手…

澁谷さん：少ないですがいますね。非常に重要な役割を担っていると思います。最後、総合型地域スポーツクラブの運営、クラブの指導に日常的に関わっている方挙手願います。

…会場挙手…

澁谷さん：この4番については国の調査のデータはあります。全国のスポーツ推進委員の30%くらいが総合型クラブに関わっているといわれております。全国の平均と大体同じくらいなのかと思います。それではスライドをお願いします。スポーツの価値はなんだろうというところで一緒に考えていきたいと思います。

内在的価値

1つ目は内在的価値、スポーツそのものが持っている価値と思ってください。スポーツの本質的な価値とも言われています。スポーツをすること見ることが楽しい、やりがいがあるということこれが一番重要な価値といわれていますが、これ以外の価値が特に今言われるようになっていきます。

外材的価値

2つ目、題材的価値といわれています。スポーツ活動を通じて得られる効果といわれますが、これを詳しく話したいと思います。1つ目は、教育的価値は一般的なものだと思います。青少年の健全育成、人間的成長、先ほどの講演でもアスリートとして自分を高めていく中で成長してきた様子を聞かせてもらいました。2つ目は健康面の価値です。体力運動能力が維持や高まったり、病気の予防、改善もあり、こちらも重要だと思います。3つ目は社会的価値、地域コミュニティづくり、多様性の理解です。最後に4つ目は経済的価値。スポーツを通じて、自治体の医療費削減を目指そうという動きや、地域スポーツで雇用を創出しようというような話があると思います。価値を並べたときに自分達はスポーツの価値を生かしているなとイメージしていただければと思いますが、特に推進委員の方々は2、3番について非常に重要な貢献をされていると思います。

ここで岡崎さんにお聞きしたいのですが、ご自身はスポーツやってこられて良かったことを含めてお話していただきたいと思います。育児と両立されたアスリートの存在は希有な話だと思いますので、そういう方の深い良い話をもう少しお聞かせいただければと思います。

岡崎さん：本当に色々な人に出会えます。私も海外に行くと思っていませんでした。もう少し、英語を勉強していれば良かったと思います。世界との共通に関してはスポーツをされていて良かったと思います。いろんな人達のドラマがあるので人間は素晴らしいなと本当によく分かりました。

澁谷さん：人との出会いということで非常に良い話で、スポーツ推進委員の研修会の冒頭で表彰ありますよね。私伺うたび、表彰される方を仲間の方が声合わせて呼びますよね。非常にいいなと思います。スポーツ推進委員の活動を通して、深く繋がっていることを示す良い例だと思います。推進委員の表彰については後向きの意見を言われる方もいますが、推進委員は非常に強力なスポーツボランティアの方なので、貢献されてきた方を評価する晴れの舞台なので見る度にいいなと思います。ありがとうございます。

スポーツの価値ということで、もう少し深めて話したいと思いますので次のスライドをお願いします。やっている人はスポーツの価値があるとわかっていると思いますが、関わりのない人、嫌いな人も少なからずいます。テレビで見るスポーツは好きだが、自分ではやらないし、やっている人を理解はない。なぜこういうことが起きるのか、価値を広げようということは、広まっていないという課題があるから、広めようと謳われるわけです。皆さんに問いかけたいと思います。スポーツ関係者の多くは価値を正しく理解普及しているか大変恐縮ですがイエスかノーで挙手をお願いします。スポーツ関係者の多くは、価値を深く理解して普及していると思う方は挙手願います。

…挙手…

澁谷さん：驚くほど少ないですね。ではスポーツ関係者の多くは価値を深く理解して普及していないと思う方は挙手願います。

…挙手…

澁谷さん：ありがとうございます。今挙手していただいた方を比較するとどちらが多いかは分かると思いますが、理解していない、スポーツに関わっていても価値を正しく深く理解し普及している人ばかりではないということが、皆さんが現場で感じていることを共有できました。スライド次お願いします。私もイエスよりノーと思っていました。スポーツに情熱を注いでいる方、時間も労力も惜しまず地域のスポーツに貢献している方、競技成績が高い方、大会で結果を残す方、育ててこられた指導者、こういう方々が、成績が高ければ高いほど価値を正しく理解しているとは限らないということを感じております。ここに書いてありますが。誤った価値観を周囲に発信している場合もあります。競技実績のある選手を育成している指導者は非常に厳しい指導をするあまり、子供のときに逆にスポーツ嫌い、きつい練習に耐えられる人がスポーツを続けることができる例かと思います。体罰もその例かもしれません。スポーツが大好きな人を作る一方でスポーツの良さに気づいてくれない、スポーツを離れてしまう人を同じように作ってしまうとすれば、スポーツの良い価値を半分ほどしか広げられていないかと思います。岡崎さんに伺いたいのですが、アスリートとして、ある程度運動能力があると思いますが、子供時代スポーツと出会って関わってきた指導者のこういうところが良かったという人との出会いと繋がりがあれば教えていただきたいのです。

岡崎さん：他にもチームメイトがいて、自分の息子を教えている方、指導者というより父兄です。お父さん達が独学で、私達の地域より十勝のほうが盛んなので練習方法を勉強してきて持ち帰ってやるのですが、まずは自分の息子で試して、それに私達が付いていくという形です。町は4000人ほどの人口ですがオリンピック選手は4人出場しています。その地域性で厳しいがなぜこうしなければいけないのかしっかり教えることができていることと、練習を終了するとジュースやアイスを買ってもらい、子供が喜ぶことをしてくれます。休みは家でゆっくり休むのではなく、公園でジンギスカン食べる等、飴と鞭ではないですが、辛い大変なことをしていても、子ども達の好きな遊びにシフトして戻っていくというような子供のやる気をその時の指導者はできているというか、やめる子供がいなかったの、皆家族同然という幼少を過ごしていました。

澁谷さん：もしかしたら今の都会では、そこまで深いスポーツとの関わりは、敬遠されてしまうかもしれませんね。週末まで練習、試合となると負担に感じ、スポーツ少年団に入れたい保護者の志向もあるようです。

岡崎さん：皆農家でずつつきつきりではないです。我が家も酪農家で牛がいるので、遠くにいきませんでしたので、まかせつきりという形で、地域で誰か犠牲になるのですが、父兄にお願いしてしまうという感じです、都会ではお願いすることも、気が引けますし、申し訳ない気持ちもありますし、地域性があるのかと思います。

澁谷さん：講演の冒頭で田舎に生まれてよかったと話していましたが、私は埼玉県で、仕事で地域スポーツの現場に伺うことで、子育ては田舎の方が絶対良いと実感しています。首都圏の方は周囲と関わりたがらないというか、恥ずかしがってマンションでも挨拶をしながらない。この人達は大災害が起きたとき協力して乗り切ることが出来るのだろうか心配になります。私は、誰にでも挨拶するようにしていて、スポーツを通じて地域の皆さんから教えていただいたことだと思っています。子供のスポーツの話をしていただいたのですが、推進委員の方は子供より、生涯スポーツの関連でスポーツをしない地域の大人、高齢者を仲間に入れてスポーツしようと頑張っているところがあるので、岡崎さんの現役を引退して全くスポーツしない生活はもったいない気がしていて、今どうしているのか教えていただきたいです。

岡崎さん：今のところ11月末に大阪マラソンを走らなければいけなくなりました。フルマラソンです。去年はチャレンジランということで8.8km走りました。コース間違えてフルに行って行方不明

になったいきさつでフルマラソン走ってくださいとオファーがありました。一年生なので子供のことをやりながら暇を見つけてなんとか走っています。今東京は暑いので、日がないときに家族が寝ている時に走ったり色々な知恵をしぼりながらやっています。ここから子供が1人でお留守番できるようになれば、私も色々なスポーツをしたいと思いますのでなにかチャレンジしたいと思います。

澁谷さん：本業のスケートチームの指導の現場はあるのですか？

岡崎さん：今はナショナルチームに入ることが出来ません。子ども達に対して、東北のリンクも八戸にできると思うので、足を運びながら北海道にもあるので、なるべく子供達を教えたいと思っています。

澁谷さん：こういうスポーツを挑戦したいという願望はありますか？やったことはないがやってみたいと思うものはありますか？

岡崎さん：テニス、バドミントンもやってみたいです。

澁谷さん：ニュースポーツで教える引き出しがある方も沢山いるので、機会があれば推進委員の新しいスポーツとの出会いもあると思います。

岡崎さん：初めてみるスポーツもありました。ご年配の方も出来るものもあって面白いと思いました。

澁谷さん：時間は大丈夫ですか？質問をディスカッション終わったあとするということでしたが、どちらかというとそのままの流れで質問ある方がいらっしゃいましたら是非挙手いただいて、こういう機会めったにないので遠慮なく恥ずかしがらず挙手して質問していただきたいです。

質問者：聖子さんのように自転車をやろうと思いませんか？

岡崎さん：自転車は得意でやりたいと思いましたが、私は誰もやらないものをやりたがるので、ほとんど皆さんやられているので、私はいいかなと思いました。

司会者：続きましてどなたか質問ございますか？澁谷さん、岡崎さんどちらでも質問受け付けます。

澁谷さん：出なそうなので話をした上で、質問に移りますか。少し深く掘り下げてお伺いしたいのですが、子育ての両立の話はすごく大事な話で、スポーツ基本計画で社会を変える話と繋がるとおっしゃっていたようにアスリートもですが子育てをしている女性が当たり前にスポーツを続ける、一般の女性にも重要なテーマです。お子さんが小さいという理由でスポーツできない女性は沢山います。20代後半30代前半の女性のスポーツ実施率が上がらないという要因があります。子供が大きくなって手が離れた時に、健康作りのために身体を動かすとかありますが、子育てがスポーツをする上でマイナスになっています。これをプラスに変えていく、スポーツで社会を変える重要なテーマだと思います。そこに参考になるようなお話をお聞かせ願えればと思います。

岡崎さん：1人で自分だけだと子育てとスポーツを両立するのは無理です、第三者が必要です。もしくは祖父母がいればいいと思いますが高齢だと子供を見るのも大変かと思います。家族が助け合わなければ出来ないと思うので、託児所が多いほうがやりやすいです。ホールの中にキッズルームがあるのでこのホールは素晴らしいと思います。託児所を作る会社も増えました。2年前に警視庁の女子警察官を対象にした講演依頼が来ました。警官を続けたいけど子供が小さいし危険な仕事だからどうしようかということだったので、色々アドバイスをさせていただきました。まずは託児所を作りましょうという話がでていたようです。私もオリンピックを目指すにあたり、高校の先生に丸預けした方がいいといわれたが、それでは意味がない。私は両立がしたかったので、そこでどういうふうに動くか試したかったので、誰かつけてもらうのがベストだと思います。お金の問題が発生しますのでそこは国にアスリート支援していただいて。あるにはありますがまだ少ないですし、意識が低いのですがもう少し上げてもらえるように成果を出さなければいけないのかなと思います。

澁谷さん：他の業界の著名人が仕事と育児と両立したい、なかなかニュースにならないので、社会を変えるインパクトに繋がらないですが、アスリートが子育て両立しながらオリンピックを目指したという発信力がスポーツの価値を生かして、スポーツが社会に多くの人に関心を持ってもらえるための価値を、岡崎さんは引退した後もここまでの経験した価値を広めていく大事な役割があるかと思います。

今一度質問ご意見ありませんか？

質問者：3階からよろしいでしょうか？貴重な機会なので伺いたいのですが子ども達と楽しくスポーツをするために魔法の言葉やコツがあれば教えていただきたいです。

岡崎さん：魔法の言葉は“おだてます”。できなくて当たり前なので、私も全然出来なかったので何回も練習して上手くなろうと、ほんの少しの仕草を見逃さないで欲しいと思います。少しでも変化が現れたらものすごく褒めると子供は乗ってくれるのでどんどん練習すると思います。聞く子は上達が早いですが理解するまで、時間がかかると思います。それも面倒だと思いますが砕いて分かりやすく子供でも理解できる説明、地道になるかとは思いますが、苦手の先入観ではなく大丈夫できるということでやっていただければと思います。子供は未知の存在なので、大人が諦めず指導してほしいと思います。どうでしょう、大丈夫でしょうか？

司会者：丸のサインが出ております。他ございますか？

質問者：山形県から来ました。船越と申します。子ども達と地域のかかわりについて、若干問題提起になってしまいますが、私の地域はスポ少の熱を入れるあまり、子ども会の加入率が50%程度で、昔は、子ども会はいじめの対象にならないように絶対加入しなければいけなかったのですが、現在は4年生以上スポ少に力をいれますので子ども会辞めさせてくださいと言う方が多いです。地域との関わりについてどのように考えているか教えていただきたいです。よろしくお願いします。

澁谷さん：スポーツ少年団について調査しているのでそれもふまえてお話できればと思っています。スポ少の目的は高い競技力を目指すことを第一にしています。1964年の東京オリンピックのレガシーがスポ少と言われますが、もともとはドイツの地域スポーツクラブの青少年の部門であるスポーツユースを元にし、理念を作りまして青少年の健全育成を第一にしています。自治体によっては指導に熱が入りすぎて、スポ少＝競技能力の高い子供の集まりという風になってきているところがすごく多くなってきています。スポ少＝きついというようなものがあります。スポ少に関しては10名以上の団員と有資格者2名以上であれば登録が可能です。必ずしも競技志向が高い団ばかりとは限りませんが競技志向が高い団が増えてきています。子ども会はスポ少に加入するから辞めさせてというところは行政が是正に動かなければいけないと思います。スポ少は社会教育団体として認めて、学校や公共の施設の利用に便宜が図られているケースが一般的で、行政が少年団の事務局等という形で資金的にも人的にも支援している社会的な団体ですので、地域の社会のための団体が加熱するあまり、他の社会教育的な団体の活動の妨げになることはあってはならないと思います。そこは行政に頑張って欲しいと思います。明確な回答になってはいないですが、参考にさせていただければと思います。

岡崎さん：子供は自由にいろいろな事をやらせた方が良くと思います。指導者がメインではなく、子供がメインなのでそこはよくないと思います。自由に子供が主体になるようにしていただきたいと思います。

澁谷さん：最近アスリートはプレイヤーズファーストという言葉があって地域でもそうしていただきたいです。試合に勝つために頑張ることは悪くないが勝利至上主義といってしまいます。地域のスポ少も勝利至上主義ではなく子供が練習して試合に勝って喜ぶのは子供も保護者も指導者も嬉しいですし、行き過ぎてしまう部分が出てきてしまう部分を押さえるのは行政の立場の役割なのか

と思います。趣味でやりたいことをやっている人達に過剰に口を出すことはできません。公的、社会的な部分では、施設利用に便宜を図っているのであれば当然こういう活動をしてほしい、活動に対してバックアップして欲しいと言えますと思います。施設の貸出だけして、施設を貸してさえくれば良いと地域の人が思ってスポーツ活動しているとしたら、それは大間違いです。推進委員の皆さんは、そういう活動とは真逆の取り組みです。スポーツにアクセスしていない人にどうにかしてアクセスしてもらうように頑張っていると思いますので、この会でこの質問を受けるということは先ほどのスポーツとの関わりについて挙手してくださいといい、少数しか上がりませんでした皆思っていることだと思いました。

岡崎さん：あまり、勝ち負けは必要かもしれませんが、小さいときにガンガンやらせてしまうと中学生くらいで辞めてしまいます。小学校くらいは友達と競い合いながら今日勝った、昨日は負けたとその位の程度で良いと思います。その子が成長した時に、あまり熱心にやってしまうとそこで止まってしまいます。優勝経験をしてしまうとそこで尽きて辞めてしまう子供も多いです。なるべく続けてもらえるように、良い流れに持っていかなければいけないと思います。私は、勝ち負けは小さいときはあまり意識しなくてもいいのかと思います。

澁谷さん：子供の頃、団体競技をしたこともありますか？

岡崎さん：クラブでやってはいましたが、私は自分のせいで負けたとか心が苦しくなるので私は、単品の方がいいなと思います。

澁谷さん：少年団の問題も団体ボールゲームとかが多く、陸上競技は自分との記録なので比較的に問題が起きませんので、早く燃え尽きさせてしまいます。小学校で速かった子供が大人になって活躍できないということもありますね。

岡崎さん：そこも気をつけないければいけないと思います。

司会者：先ほどの質問の方よろしいでしょうか？

質問者：ありがとうございます。

司会者：この辺で質問を切らせていただいてもよろしいでしょうか？大丈夫ですか？最後お願いします。

質問者：すみません。岡崎選手にお聞きしたいです。アスリート話を聞いて、興味をもっていることは紆余曲折様々な困難を乗り越えて結果を出してきたと思いますが、自分が最も成長できるきっかけとなったことがあればお聞きしたいです。

岡崎さん：タイミングだと思います。北海道からどうやって本州に出ようか、小さいときに3人兄弟の末っ子で、姉と兄が大学、就職したので一人でなにかをやりたいという気持ちが中学生のころから思っていました。いつかは本州に行くぞと思っていたのですが行き方も分からず、大学進学するつもりがなかったの、就職するかと考えていました。スケートが上達しないなという状況で、実家から離れて高校も釧路に行きます。

次どうしようかと思ったときに山梨の実業団から声がかかり行きました。環境的にそれほど都会でもなくちょうどいいなと思い本土に行きました。おぼろげな夢を抱きながら、現実味があまりなかったのですが橋本聖子さんとの出会いが一番成長させてくれたと思います。スケート界ではレジェンドですし、周囲のおじさんおばさんには、私は絶対泣いて返ってくると言われていたので、絶対帰らない、やれないことは絶対ない、付いていけばなんとかなると思って門を叩きました。

富士急行スケート部に入って、自分の意識ができないと思ったことが出来てきた、徐々に夢が現実味にスケッチできるようになってきたというのがこれもタイミング、出会いだと思います。長田監督に合わなければ入れなかったの出会いを大事にしていたのが一番のきっかけになったと思います。

司会者：よろしいでしょうか。沢山の質問に答えていただきましてありがとうございます。今日は岡崎様、澁谷様、有意義なご講演、ご対談ありがとうございました。お二人の今後のご活躍をスポーツ推進委員一同願っております。

本日はありがとうございました。

講師の方が退席されます。盛大な拍手でお送りください。

・・・拍手・・・



第二期スポーツ基本計画スタート ～もっと「スポーツの価値」を伝えよう～

2017年7月7日
遊谷 茂樹（笹川スポーツ財団）

1



第2期スポーツ基本計画とは？

◆計画策定の根拠：スポーツ基本法第九条
文部科学大臣は、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツの推進に関する基本的な計画（以下「スポーツ基本計画」という。）を定めなければならない。



- ・「スポーツ基本計画」（2012年3月）
計画期間：2012～2016年度
 - ・「第2期スポーツ基本計画」（2017年3月）
計画期間：2017～2021年度
- ⇒期間中に総合的かつ計画的に取り組む施策を明記

2



計画の概要：スポーツ庁資料より



計画の特徴

- ◆分かりやすさ
4つの基本方針（第2章）：スポーツで
 - ・「人生」が変わる！
 - ・「社会」を変える！
 - ・「世界」とつながる！
 - ・「未来」を創る！
- ◆「スポーツの価値」が中核
計画の本文中に18個（目次を除く）
第4章 施策の総合的かつ推進のために必要な事項
「第2章の（中略）4つの観点からなるスポーツの価値について、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体等に普及啓発していくことが重要である」

4



計画に記載された「政策目標」①

- ◆4つの政策目標
- 1. 成人のスポーツ実施率
週1回以上：65%程度（障害者 40%程度）
週3回以上：30%程度（障害者 20%程度）
- 2. 社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む

5



計画に記載された「政策目標」②

- ◆4つの政策目標
- 3. 国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう、（中略）日本オリンピック委員会（JOC）及び日本パラリンピック委員会（JPC）の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する
- 4. 2020年東京大会に向けて、我が国のスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組むことを通じて、スポーツの価値の一層の向上を目指す

6



第2期スポーツ基本計画とスポーツ推進委員

◆計画で、「スポーツ推進委員」の記載は1箇所

以下抜粋（施策の柱、中項目と本文）

1. スポーツを「する」「みる」「ささえる」
スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
- (2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実
＜スポーツ推進委員等＞
国は、地方公共団体が委嘱するスポーツ推進委員について、総合型クラブや地域のスポーツ団体等との連携・協働を促進することができる優れた人材の選考と研修の充実を支援することにより、地域スポーツの振興をささえる人材の資質向上を図る。

7



スポーツ推進委員の位置づけ：過去の計画は？

◆第1期「基本計画」の記載は3箇所

3. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

(2) 地域のスポーツ指導者等の充実

・現状と課題

「スポーツ基本法において地域のスポーツ推進体制の重要な部分を担うこととされている「スポーツ推進委員」（旧体育指導委員）については、（中略）新たな役割に対応して、さらなる注力が求められる」

・今後の具体的施策展開

（スポーツ推進委員の資質向上）

8 熟意と能力ある人材への委嘱、性や年齢のバランスに配慮、研修機会、顕彰制度の充実



スポーツ推進委員の位置づけ：過去の計画は？

◆第1期「基本計画」の記載は3箇所

7. スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

(1) トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

・今後の具体的施策展開

「地域のスポーツ活動全体をコーディネートするスポーツ推進委員を活用することにより効果的・効率的に総合型クラブや学校にスポーツ指導者等を派遣することが期待される」

9



国の計画と推進委員の現場との関わり

◆地方スポーツ推進計画

スポーツ基本法第十条

都道府県及び市（中略）町村（中略）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。



国の計画は、
都道府県・市区町村のスポーツ推進計画に影響
⇒推進委員の現場での活動・事業に直結

10



地方スポーツ推進計画とスポーツ推進委員

◆東北ブロックの事例

1. 「スポーツ立県あきた」推進プラン2014-2017
推進委員の記載は9ページ25個

【施策例】

県スポーツ推進委員協議会への支援と連携強化

○組織力の向上に向けた支援

○体力テスト・スポーツ実態調査を各市町村のスポーツ推進委員と連携して実施

2. 北上市スポーツ推進計画（2016）

推進委員の記載は1個（委員名簿除く）

⇒第2期計画を受けて策定される計画の動向は？

11



スポーツ推進委員に求められる役割は？

◆スポーツ政策との関わりの中で

「スポーツの価値」の向上への貢献を意識して、

1.

2.

3.

4.

⇒後半のディスカッションで

12



●推進委員のスポーツとの多様な関わり

1. ニュースポーツ、レクリエーション種目を日常的に指導
2. オリンピック競技・武道等を日常的に指導
3. 障害のある人に運動・スポーツ・レクリエーションを日常的に指導
4. 総合型地域スポーツクラブの運営やクラブでの指導に日常的に参画

1



●そもそも、スポーツの価値とは？

1. 内在的価値
スポーツをする・みること自体の楽しさ、やりがい
2. 外在的価値
スポーツ活動を通じて得られる便益・効果
 - 1) 教育的価値
青少年の健全育成、人間的成長
 - 2) 健康面の価値
体力・運動能力の維持向上、疾病予防・改善
 - 3) 社会的価値
地域コミュニティづくり、多様性理解
 - 4) 経済的価値
医療費の削減、雇用の創出

2



●スポーツの価値を啓発する上での課題

【質問】

スポーツ関係者の多くは、「スポーツの価値」を正しく理解・普及しているか？

【答え】

Yes < No

スポーツへの情熱、競技成績、指導実績があるほど、価値を正しく理解しているとは限らない

⇒逆に、誤った価値観を周囲に発信している場合も

3



●スポーツの価値と推進委員の役割

スポーツの多様な価値を正しく、分かりやすく伝え続けることで、より多くの人にスポーツの良さや必要性を知ってもらい、スポーツをする、みる、ささえる仲間を増やしていくこと

◆「スポーツの価値」向上を意識した取り組み

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

4



平成29年度 東北地区スポーツ推進委員研修会

どこまでも挑戦！

岡崎 朋美 (北上市ふるさと大使)

2017年7月7日

自己紹介

スピードスケート選手として、5回の
冬季オリンピックに出場
(日本女子としては最多)

1994年 リレハンメル
1998年 長野
2002年 ソルトレイクシティ
2006年 トリノ
2010年 バンクーバー



1998年長野オリンピック



日本女子短距離として初のメダル(銅)を獲得

2006年トリノオリンピック



日本選手団
主将を務める

500m 4位入賞

3位(銅メダル)との差は…0.05秒

結婚、出産と競技の両立

2006年 トリノ五輪

2007年11月結婚

2010年 バンクーバー五輪

2011年12月長女誕生

2014年 ソチ五輪に挑戦



トレーニングの様子



岡崎朋美

- 何をするにしても最後に決めるのは**自分**
- 自分の夢に**責任**を持つ
- やりたいことには、とことん**挑戦**する
- 1日1日を**笑顔**で過ごす
- 自分に限界を作らず、**あきらめない**こと



アトラクション

○ アトラクション「鬼剣舞」

アトラクション

岩手県立北上翔南高等学校 鬼剣舞部

今年8月、宮城県で開催された第41回全国高校総合文化祭の郷土芸能部門で北上翔南高校が伝承21校のうち上位2校に贈られる優秀賞・文化長官賞を受賞し、5年ぶりに優秀校東京公演（8/26～27、国立劇場）で約1300年前から岩手県北上地方に伝わる民族芸能「鬼剣舞」を披露しました。

踊り手の2人が組み合い、バク転のように宙返りをする「カニムクリ」と呼ばれる曲芸では観客から大きな拍手があがりました。



実技研修

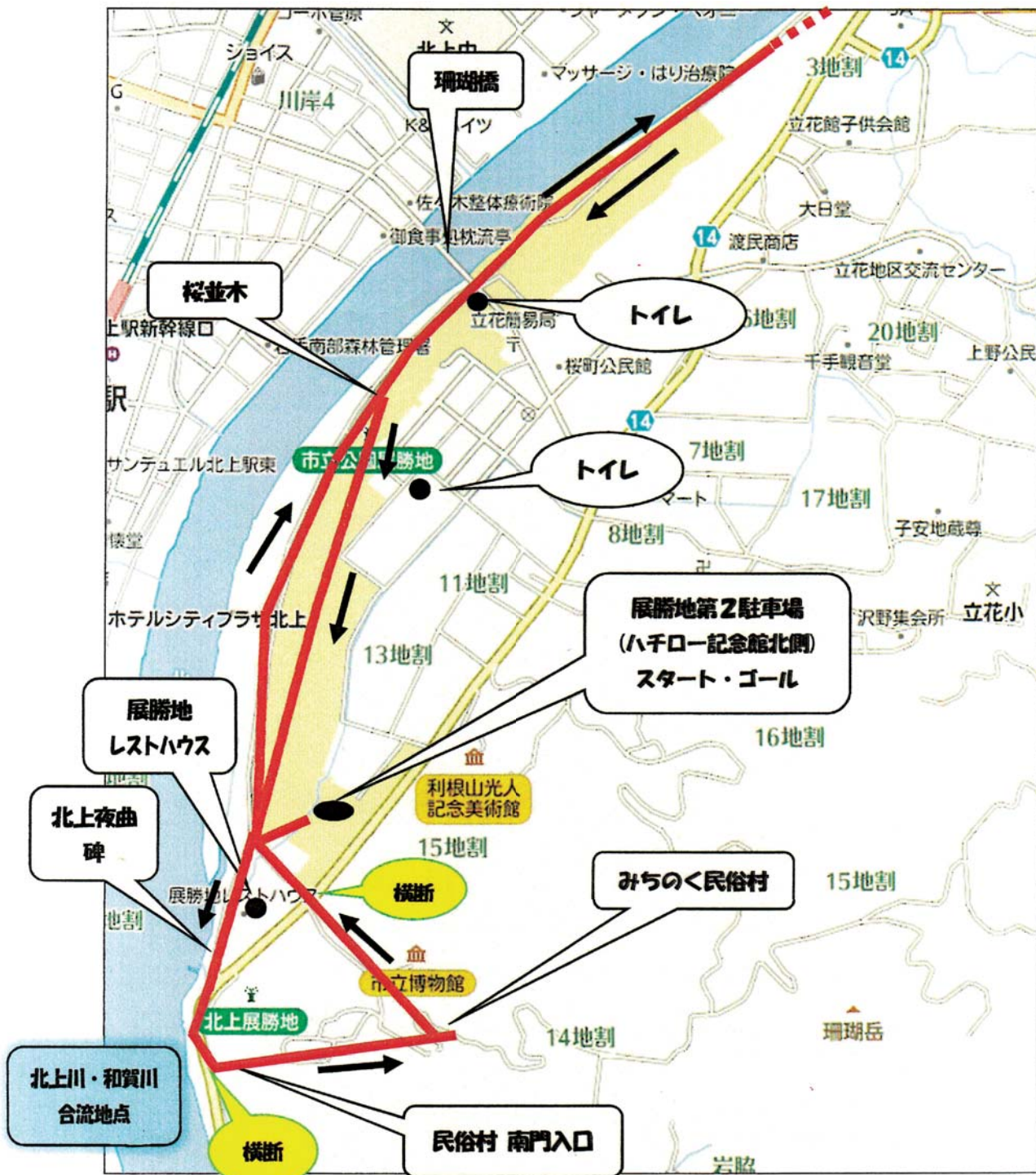
- たかみ散策・健康ウォーキング
- ディスクゴルフ
- 室内雪合戦
- クップ

たかみ散策・健康ウォーキング

会場：北上市立公園展勝地、みちのく民族村ほか

快晴の青空の下、桜の名所として知られる北上展勝地及び周辺で、ウォーキング協会と北上市スポーツ推進委員の皆様にご協力いただき、きたかみ散策・健康ウォーキングを実施しました。60人ずつ6班に別れて、名勝や北上川の眺めを楽しみ、熱中症予防やお互いの健康を気遣いながら全員笑顔で完歩しました。

ご協力いただきました皆様のお陰で、充実した研修となりました。大変ありがとうございました。





ディスクゴルフ

会場：北上総合運動公園内

ディスクゴルフは、昨年の希望郷いわて国体で総合開会式を開催した北上総合運動公園内の林間コースで約160名の参加者を8人×20班に分けて実施しました。初めて体験した方もいらっしまったようですが、ルールを理解し、すぐに技術を身につけて仲間と愉快に語らいながらディスクゴルフの面白さ・奥深さを体感していただきました。

岩手県フライングディスク協会及び北上市スポーツ推進委員の関係者の皆様のご協力で充実した研修会となりました。大変ありがとうございました。



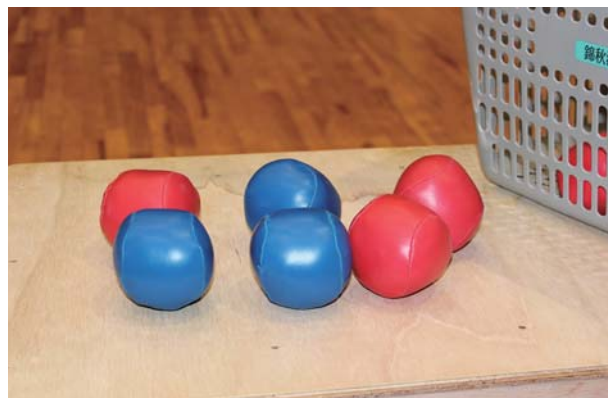
室内雪合戦

会場：北上総合体育館 大アリーナ

北上市総合体育館では、西和賀町雪合戦協会の方々に御協力いただきの希望郷いわて国体のデモンストレーションスポーツとして開催した室内雪合戦を開催しました。

参加者は、これまで室内雪合戦を経験したことがないという方が多く「貴重な経験ができた」という声が多数ありました。研修終盤に近づくにつれ参加者の動きも良くなり、室内雪合戦の試合を全力で楽しんでいる姿が見受けられました。

西和賀町雪合戦協会の方々をはじめ運営に携わった関係者及び参加者の皆様のお陰で充実した研修会となりました。ありがとうございます。



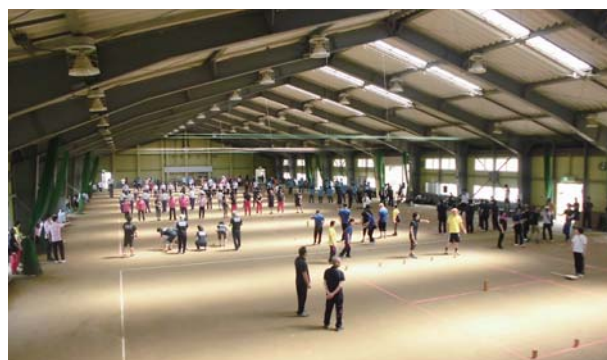
クッブ

会場：北上市多目的催事場

北上市多目的催事場では、住田町の岩手県クッブ協会の皆様にご協力いただき、クッブを実施しました。260名の参加者が昨年の希望郷いわて国体でデモンストレーションスポーツとして実施したクッブを楽しみました。

木と木がぶつかり奏でる爽やかな音が響く会場内のあちこちで、相手コートのクッブを倒して味方同士でハイタッチをして喜びあう微笑ましい様子が見られました。短い時間ではありましたが一投で旗色が変わるクッブの魅力を存分に堪能していただけたと感じております。

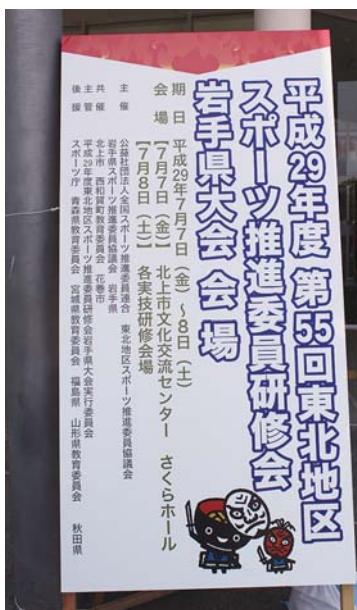
ご協力頂いた皆様のお陰で、充実した研修となりました。大変ありがとうございました。



平成29年度第55回東北地区スポーツ推進委員研修会岩手県大会実行委員会

No	役職名	氏 名	団体役職名
1	委員長	佐 藤 勝 士	岩 手 県 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
2	副委員長	高 橋 吉 行	北 上 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 連 絡 協 議 会 会 長
3	副委員長	工 藤 啓一郎	岩 手 県 文 化 ス ポ ー ツ 部 ス ポ ー ツ 振 興 課 総 括 課 長
4	副委員長	高 橋 剛	北 上 市 ま ち づ く り 部 ス ポ ー ツ 推 進 課 長
5	委 員	石 川 進	西 和 賀 町 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
6	委 員	佐 藤 邦 夫	花 巻 市 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 副 会 長
7	委 員	村 里 洋 子	盛 岡 市 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
8	委 員	川 村 勇	紫 波 矢 巾 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
9	委 員	高 橋 清 志	岩 手 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
10	委 員	菊 池 幸 子	胆 江 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
11	委 員	佐々木 亨	一 関 地 方 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
12	委 員	吉 田 千 秋	上 閉 伊 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
13	委 員	久保田 敬 吾	気 仙 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
14	委 員	大弓川 和 徳	宮 古 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
15	委 員	田 中 正 俊	久 慈 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
16	委 員	田 頭 一 男	二 戸 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 会 長
17	監 事	柳 村 黎 子	岩 手 県 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 監 事
18	監 事	高 橋 瑞 穂	岩 手 県 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 監 事
19	事務局長	星 野 俊 一	岩 手 県 文 化 ス ポ ー ツ 部 ス ポ ー ツ 振 興 課 担 当 課 長
20	事務局次長	中 島 昭 博	岩 手 県 文 化 ス ポ ー ツ 部 ス ポ ー ツ 振 興 課 上 席 ス ポ ー ツ 振 興 専 門 員
21	事務局員	吉 田 亨	岩 手 県 文 化 ス ポ ー ツ 部 ス ポ ー ツ 振 興 課 主 査 ス ポ ー ツ 振 興 専 門 員
22		北 村 太 志	岩 手 県 文 化 ス ポ ー ツ 部 ス ポ ー ツ 振 興 課 主 事
23		湊 碧	岩 手 県 文 化 ス ポ ー ツ 部 ス ポ ー ツ 振 興 課 主 事

会場風景



ありがとうございました
来年度の宮城県大会の成功をお祈りします

